



2017 NEAR 実務者ワークショップ°

NEAR Working-level Workshop 2017

2017年 4月 19日 ~ 4月 21日



北東アジア地域自治体連合事務局
The Secretariat of the Association of Northeast Asia Regional Governments





2017 NEAR 実務者ワークショップ^o

NEAR Working-level Workshop 2017

2017年 4月 19日 ~ 4月 21日

 北東アジア地域自治体連合事務局
The Secretariat of the Association of Northeast Asia Regional Governments



開会の辞

北東アジア地域自治体連合 事務次長 朴 賛 佑（パク・チャンウ）

万物が蘇る春、爽やかな4月に「美しい島、済州」で2017 NEAR実務者ワークショップを開催することができ、非常に嬉しく思います。

まず、NEAR会員自治体として本行事の準備に積極にご協力いただいた済州特別自治道の元喜龍（ウォン・ヒリョン）知事をはじめ、国際交流関係者の皆様に心から感謝申し上げます。また、NEARの発展に関心と愛情を持ち、貴重な時間を割いてご参加いただいた各会員自治体の実務者の皆様に感謝申し上げます。

NEAR実務者ワークショップは、会員自治体間における情報交換、人的ネットワークの強化、様々な行政経験の共有のために設けられています。また、NEARの活動成果と業務計画を各自自治体の国際交流関係者に紹介することでNEARの活動に対する理解を深めていただき、NEARがさらに成長していくために必要な、最も基礎的な意見集約の場でもあります。

これまでの会員自治体実務者の皆様の積極的なご参加、ご意見はNEAR発展の基となっております。現在のNEARの地位確立に大きく寄与してきました。特に今回の実務者ワークショップでは、前回の総会で決定された2018年度の会費制導入に係る後続措置と、分科委員会の活性化方策について討議を行う予定です。会費制の導入と分科委員会の運営活性化は、NEARが実質的な交流協力を通じて一歩進んだ国際機構として位置づけられるための重要な課題です。皆様には、各自自治体を代表して、NEARの発展と会員自治体間の協力に向けた建設的で創意的な意見のご提示をお願いいたします。

会員自治体の実務者の皆様！
NEARの未来は、実務担当者の皆様に懸かっています。皆様の積極的なご参加が、北東アジア地域の交流活性化、結束力強化、共同繁栄を切り開く礎となります。

最後に、本ワークショップ期間中には済州島の自然景観や歴史文化もご体験いただき、他の自治体の参加者と交流することで、親密な関係を築いていただければ幸いです。私達事務局では、皆様の意見に耳を傾け、今後の事業推進にこれらを繁栄していくよう最善の努力を尽くしていきます。実務者ワークショップにご参加の皆様に改めて感謝を申し上げますとともに、皆様のご健康、ご多幸を祈念いたします。ありがとうございました。

歓迎の辞

韓国・済州特別自治道知事 元 喜 龍（ウォン・ヒリョン）

皆様、こんにちは。
NEAR実務者ワークショップのため、済州にお越しいただいた会員自治体の皆様に心から歓迎します。

平和と繁栄の北東アジア時代を切り開くため、地域間の交流協力にご尽力いただいている皆様に感謝申し上げます。

済州で開かれる実務者ワークショップを通じて新たな協力課題が発掘され、強い信頼関係が結ばれる貴重な機会になることを期待します。

済州は、2005年に韓国政府から「世界平和の島」として指定されました。初の国際機構である国連訓練調査研究所（UNITAR）済州国際研究センターの誘致、先導的な自治体南北交流協力事業、発展途上国との国際開発協力事業など、様々な平和実践事業を推進しています。

20年以上積み重ねてきた済州の平和インフラと潜在力は、北東アジアの平和と繁栄のための非常に大切なエネルギーだと考えています。

また、済州が力を入れて推進しているクリーンエネルギー、電気自動車の普及を基盤とした新たなエネルギーの生態系は、アジアにおけるエネルギーの平和と気候・環境問題を解決のための肯定的なモデルとして提示されています。

今年で12回目を迎える「平和と繁栄のための済州フォーラム」は、アジアの平和と地域共同体の建設に大きく寄与する議論の場であり、5月31日から6月2日まで開催します。

2007年にノーベル平和賞を受賞したアル・ゴア元米副大統領による、気候変動についての特別講演をはじめ、世界を見る目と洞察力を広げることができる様々なプログラムを用意しています。

皆様の多くのご関心、ご声援をお願いします。

北東アジアの協力・共同繁栄に向けたNEARの努力を熱く支持します。そして、済州で楽しく安らかな時間をお過ごしください。ありがとうございました。



目次

□ 行事概要	007
・ 概要 / 日程 / 発表者現況 / 座席配置図	
□ 連合の主要活動報告	013
・ 第11回総会開催結果報告 [ロシア・イルクーツク州]	
・ 事務局の主要業務報告 [NEAR事務局]	
・ 分科委員会の活動報告	
- 海洋・漁業分科委員会 [中国・山東省]	
- エネルギー・気候変動分科委員会 [中国・山西省]	
- 環境分科委員会 [日本・富山県]	
- 防災分科委員会 [日本・兵庫県]	
- 教育・文化交流分科委員会 [日本・島根県]	
□ 会員自治体の発表	053
・ 湖南省（議長団体）の現況 [中国・湖南省]	
・ 青年交流を通じた共同発展の推進 [中国・陝西省] ※資料なし	
・ メディシティ大邱[韓国・大邱広域市]	
・ アジア・太平洋都市首脳会議（APCS） [韓国・大田広域市]	
・ 2017堤川国際漢方バイオ産業エキスポ [韓国・忠清北道]	
・ ホーチミン・慶州世界文化エキスポ2017の開催 [韓国・慶尚北道]	
・ 第2回UCLG世界文化首脳会議 [韓国・済州特別自治道]	
・ スフバートル県の現況 [モンゴル・スフバートル県]	
□ 主要議題討議	103
・ <議題1> 分科委員会の調整について	
・ <議題2> 分科委員会規程の改定について	
・ <議題3> 会費の用途決定について	
□ 参考	109
・ 2017年度NEAR主要行事日程	
・ 参加者名簿	



2017 NEAR 実務者ワークショップ^o NEAR Working-level Workshop 2017

行事概要

概要

日程

発表者現況

座席配置図

2017 NEAR実務者ワークショップ

□ 概要

○期 間：2017年4月19日(水) ～ 4月21日(金)，2泊3日

○場 所：韓国・済州特別自治道 オリエンタル・ホテル (Oriental Hotel)

○参加者数：約110名（5か国42自治体）※事務局職員17名を含む

国名	参加会員自治体	参加者数
日本	4自治体	10名
中国	8自治体	20名
韓国	15自治体	31名
モンゴル	14自治体	24名
ロシア	1自治体	2名
計	42自治体	87名

○主催/主管：北東アジア地域自治体連合事務局

○ 主要内容

- 事務局の主要業務報告
- 分科委員会の活動報告
- 会員自治体の発表
- 主要議題討議
- 現地視察：城山日出峰（ソンサンイルチュルボン）

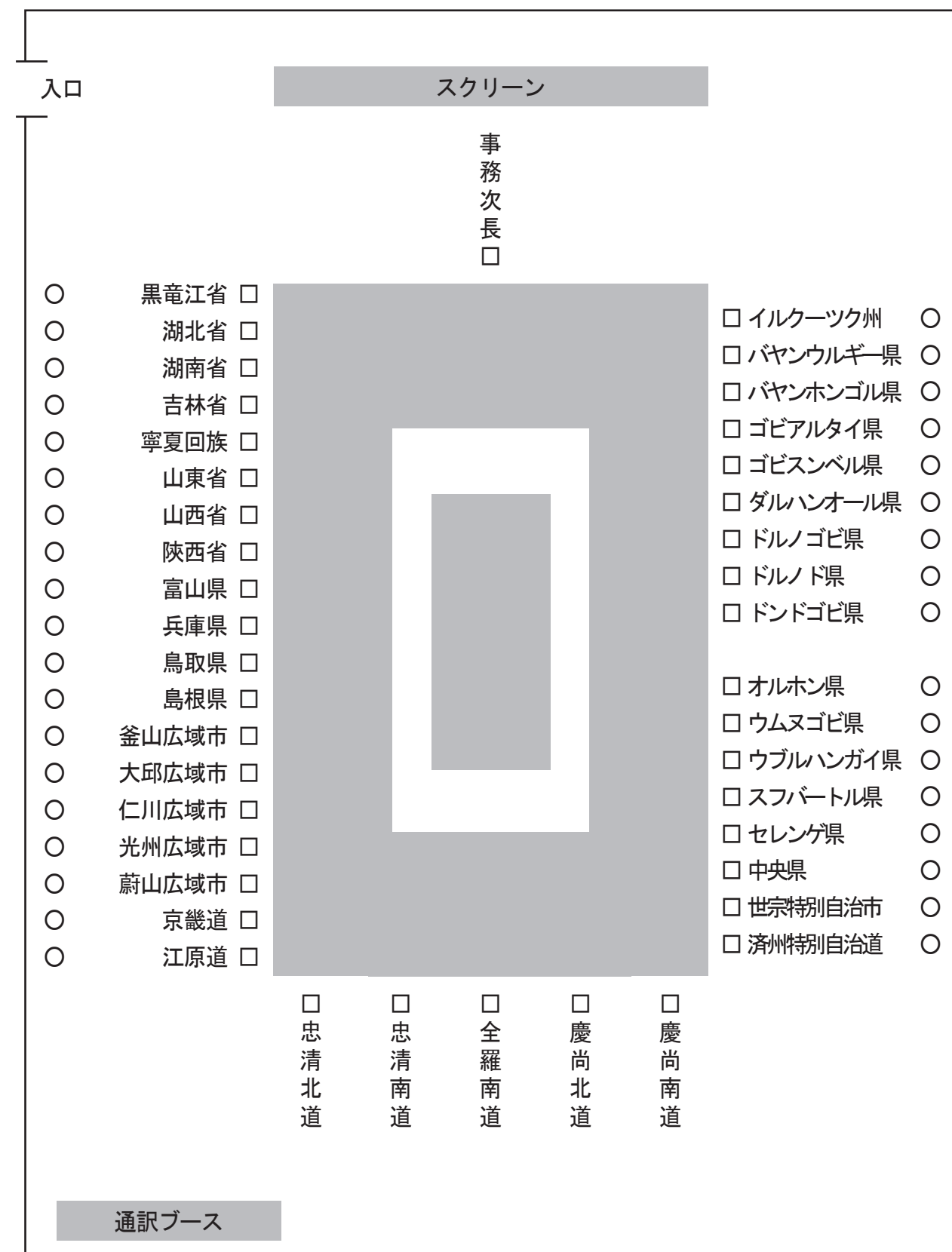
□ 日程

日	時	主要内容	備考
4/19 (水)	～18:00	登録、ホテルチェックイン	ホテル1階ロビー
	18:00～21:00	夕食	ホテル地下1階
4/20 (木)	07:00～08:30	朝食	ホテル地下1階
	09:10～09:20	登録、済州道広報映像上映	
	09:20～09:30	NEAR広報映像上映	
	09:30～09:35	開会、参加者紹介	司会：NEAR事務局
	09:35～09:40	開会挨拶（NEAR事務次長）	
	09:40～09:45	歓迎挨拶（済州特別自治道知事）	
	09:45～09:50	記念撮影	
	09:50～10:30	連合の主要活動報告	
	10:30～11:10	会員自治体の発表	
	11:10～11:20	コーヒースタンド	
	11:20～12:30	主要議題討議Ⅰ ・分科委員会の調整について ・分科委員会規程の改定について	
	12:30～14:00	昼食	ホテル地下1階
	14:00～15:40	主要議題討議Ⅱ ・会費の用途決定について	
	15:40～18:30	自由時間（市内散策等）	晚餐会場設営・準備
4/21 (金)	18:30～20:30	晚餐会	
	20:30～	自由時間	
	07:00～09:00	朝食、チェックアウト	ホテル地下1階
	09:00～10:10	移動（ホテル → 城山日出峰）	借上げバス
	10:10～12:10	現地視察（城山日出峰）	ユネスコ世界遺産
	12:10～12:30	移動（城山日出峰 → 食堂）	借上げバス
	12:30～13:40	昼食	
	13:40～15:00	移動（食堂 → ホテル）	借上げバス
	15:00～	送迎（ホテル → 済州空港）、参加者帰国	借上げバス

□ 発表者現況

区分	タイトル	発表者	自治体名	所属・役職
連合の 主要活動 報告	第11回NEAR総会結果報告	Puzynya Galina	ロシア・ イルクーツ ク州	対外経済関係及び 地域協力局 局長
	事務局の主要活動報告	朴志雄	NEAR 事務局	企画広報部 企画総務チーム長
	海洋・漁業分科委員会	Xue Jiuming	中国・ 山東省	海洋漁業庁 対外協力処長
	エネルギー・気候変動分科 委員会	Wu Shaozhong	中国・ 山西省	外事弁公室 主任
	環境分科委員会	杉田 尚美	日本・ 富山県	総合政策局 国際課 課長補佐
	防災分科委員会	菱田 裕史	日本・ 兵庫県	産業労働部国際局 国際交流課 主幹
	教育・文化交流分科委員会	日下 純子	日本・ 島根県	環境生活部 文化国際課 課長
会員自治 体の発表	湖南省（議長団体）の現況	Zeng Zhuoran	中国・ 湖南省	友好協会弁公室 副主任
	メディシティー大邱	Kwag Kab Yeal	韓国・ 大邱広域市	医療ハブ造成課 医療観光チーム長
	アジア・太平洋都市首脳会 議（APCS）	Lee Yong Jun	韓国・ 大田広域市	国際交流担当官 事務官
	2017堤川国際漢方バイオ 産業エキスポ	Kyeong Song Lim	韓国・ 忠清北道	国際通商課 主務官
	ホーチミン・慶州世界文化 エキスポ2017の開催	Jung Jin Woo	韓国・ 慶尚北道	グローバル通商協力課 国際協力担当
	第2回UCLG 世界文化首脳会議	Yang In Jeong	韓国・ 済州特別自治道	平和対外協力課 国際交流担当
	スフバートル県の現況	Ulaankhuu Narantuya	モンゴル・ スフバートル 県	行政管理課 国際交流担当
主要議題 討議	分科委員会の調整について	李源春	NEAR 事務局	国際協力部長
	分科委員会規程の 改定について	李源春	NEAR 事務局	国際協力部長
	会費の用途決定について	朴志雄	NEAR 事務局	企画広報部 企画総務チーム長

□ 座席配置図





2017 NEAR 実務者ワークショップ^o

NEAR Working-level Workshop 2017

連合の主要活動報告

第11回NEAR総会結果報告 [ロシア・イルクーツク州]

事務局の主要業務報告 [NEAR事務局]

分科委員会の活動報告

- 海洋・漁業分科委員会 [中国・山東省]
- エネルギー・気候変動分科委員会 [中国・山西省]
- 環境分科委員会 [日本・富山県]
- 防災分科委員会 [日本・兵庫県]
- 教育・文化交流分科委員会 [日本・島根県]



第11回NEAR総会結果報告

ロシア・イルクーツク州対外経済関係及び地域協力局局长
Puzynya Galina

尊敬する事務総長、そして本日まで参加の皆様。

イルクーツク州政府を代表してNEAR実務者ワークショップにご参加の皆様にお会いできて嬉しく思います。まず、2015年から2016年までのNEAR議長団体の任務を無事に終わられるよう、信頼していただいたNEAR事務局と会員自治体の皆様に感謝申し上げます。

2016年9月26日から29日まで、ロシア・イルクーツク市で第11回NEAR総会を開催しました。

総会には、中国、日本、韓国、モンゴル、ロシアの5か国30自治体125名の会員自治体代表者、中国・韓国・モンゴル・北朝鮮の外交関係者、駐イルクーツクロシア外交部代表が出席しました。

第1セッションでは、2015年にイルクーツク州で開催した第10回NEAR実務委員会の結果報告、事務局の主要活動報告、分科委員会の活動報告が行われました。

第2セッションでは、新規会員加入の承認、次期議長団体の決定、分科委員会コーディネート団体の交代、会費運営規程の制定と憲章改定について討議・議決が行われました。NEARの新規会員として、中国・陝西省、内モンゴル自治区、山西省、安徽省の加入が満場一致で議決されました。2017年から2018年までの議長団体に決定した中国・湖南省へのNEAR議長旗の伝達も行われました。

また、正常に開催されていない、エネルギー・気候変動、国境地区協力、女性・児童分科委員会のコーディネート団体交代に係る推進結果について事務局から報告された後、中国・山西省の申請に基づき、エネルギー・気候変動分科委員会のコーディネート団体を韓国・大邱広域市から中国・山西省に交代することを議決しました。残りの2分科委員会のコーディネート団体交代は、2017年第11回実務委員会に上程して推進することを決定しました。

第10回実務委員会で議論し、事務局が会員自治体の意見を取り入れて作成した会費制運営規程（案）を議決しました。会費は全会員自治体に対して年会費1,000USドルを均等に賦課する定額制で運営し、導入時期として2018年から会費を納付することとしました。会費の用途として、連合の発展と会員自治体の共同目的に合致するプログラムやプロジェクトの遂行に使用することになりました。

また、総会では、連合憲章の改定についても論議されました。時代の流れに効率的に対応し、連合の地位を向上させ、運営を活性化させるため、憲章の内容の一部を改定しました。

第一に、憲章第4条（会員の範囲）を改定するとともに、準会員制に関する規定として憲章第4条の2を新設し、北東アジア以外のアジア地域に位置する広域自治体も連合の活動に参加できることとしました。併せて、第5条の2（準会員の権利・義務）を新設しました。

第二に、憲章第6条に規定する総会の構成員を「会員自治体の代表」から「会員自治体の首長」と具体的に明示し、総会の最高議決機関としての機能に合致するよう改定しました。

第三に、憲章第7条（役員）を改定し、監事の選出に関する規定を整理しました。

第四に、憲章第8条に規定する現行の10の総会の機能に「会費運営規程で定める事項の承認」を追加するとともに、順序の再配列を行いました。また、第9条を改定し、「第8条第1号から第5

号の事項は、議決権を有する会員の過半数の出席と、出席した会員の3分の2以上の賛成により議決する。」とすることとし、「第8条第6号から第11号の事項は、議決権を有する会員の過半数の出席と、出席した会員の過半数の賛成により議決する。」とすることとしました。

第五に、憲章第9条の2を新設し、総会の機能のうち、総会が開催されない年度の「会員及び準会員の入会及び除名の議決」「予算・決算及び事業計画の承認」「会費運営規程で定める事項の承認」を実務委員会に委任して議決することができるようにしました。

第六に、連合の会費制導入の決定に基づき、憲章第15条の「会費は負担しないこととする。」との規定を改定しました。

総会では、今後のNEARの発展と強化に向け、会員自治体間の相互協力を拡大するため、ひいては北東アジアのグローバル地域発展のため、非常に重要で意義深い決定が行われました。

2016年はNEAR創立20周年となる年であり、イルクーツク州のフィルハーモニー国立劇場で共同宣言文の朗読、イルクーツク州と韓国の公演団による祝賀公演等の記念行事が行われました。総会のプログラムの1つとして現地視察を行い。参加者はイルクーツク州のタルチ民族博物館、バイカル湖の遊覧船観光を体験しました。

今後、イルクーツク州は、NEARの発展と一つとなった国際社会の効率的な活動のため努力していきます。ご清聴ありがとうございました。



NEAR Working-level workshop 2017

NEAR事務局 主要業務報告

沿革

- 1993～1995：第1回～3回、4か国自治体会議（中、日、韓、露）の開催
- 1996年 9月：第1回慶尚北道（慶州）総会、4か国29会員自治体で連合創設
- 2004年 9月：第5回黒竜江省総会、常設事務局の慶尚北道への設置決定
- 2008年 9月：第7回山東省総会、6か国69会員自治体に拡大（事務局再任）
- 2010年10月：第8回京畿道総会、6か国70会員自治体に拡大
- 2012年 7月：第9回寧夏回族自治区総会、慶尚北道への事務局長期設置決定
6か国71会員自治体に拡大（世宗特別自治市の加入）
- 2014年10月：第10回全羅南道総会、6か国73会員自治体に拡大
- 2016年 9月：第11回イルクーツク州総会、6か国77会員自治体に拡大

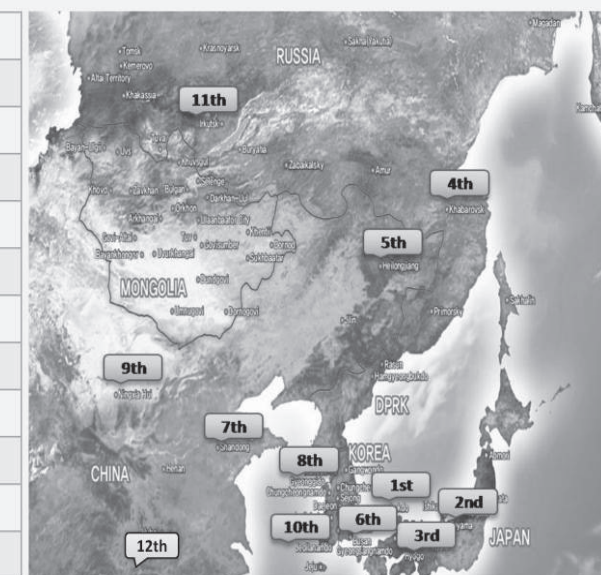


NEAR Working-level workshop 2017

I . NEARの現況

歴代議長自治体

初代	韓国・慶尚北道、1996～1998
第2代	日本・富山県、1998～2000
第3代	日本・兵庫県、2000～2002
第4代	ロシア・ハバロフスク地方、2002
第5代	中国・黒竜江省、2002～2004
第6代	韓国・釜山広域市、2004～2006
第7代	中国・山東省、2006～2008
第8代	韓国・京畿道、2008～2010
第9代	中国・寧夏回族自治区、2010～2012
第10代	韓国・全羅南道、2012～2014
第11代	ロシア・イルクーツク州、2014～2016
第12代	中国・湖南省、2016～2018



NEARの組織

・ 総会、実務委員会、14の分科委員会、事務局で構成

分科委員会	所属自治体
経済・文化交流	慶尚北道
環境	富山県
教育・文化交流	島根県
防災	兵庫県
国境地区協力	イルクーツク州
科学技術	京畿道
観光	河南省
海洋・漁業	山東省
エネルギー・気候変動	山西省
女性・児童	ドレハ県
鉱物資源開発	マガダン州
生命・医療産業	忠清北道
農業	全羅南道
スポーツ	サハ共和国

会員自治体の現況

北朝鮮(2) 咸鏡北道、羅先特級市

モンゴル(22) ウランバートル市、アルハンガイ県、バヤンウルギー県、バヤンホンゴル県、ボルガン県、ゴビ・アルタイ県、ゴビスンベル県、ダルハン・オール県、ドルノド県、ドルノゴビ県、ドンドゴビ県、ザブハン県、オルホン県、ウブスハンガイ県、ウムヌゴビ県、スフバートル県、セレンゲ県、中央県、オブス県、ホブド県、フブスグル県、ヘンティ県

ロシア(16) ブリヤート共和国、サハ(ヤクーチア)共和国、トゥヴァ共和国、アルタイ地方、ザバイカリエ地方、クラスノヤルスク地方、沿海地方、ハバロフスク地方、アムール州、イルクーツク州、カムチャツカ地方、マガダン州、サハリン州、トムスク州、ケメロヴォ州、ハカス共和国

会員自治体の現況 ※ 6か国77自治体

中国(11) 黒龍江省、河南省、湖北省、湖南省、寧夏回族自治区、山東省、吉林省、安徽省、内モンゴル自治区、山西省、陝西省

日本(10) 青森県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県

韓国(16) 釜山広域市、大邱広域市、仁川広域市、光州広域市、大田広域市、蔚山広域市、世宗特別自治市、京畿道、江原道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚北道、慶尚南道、済州特別自治道

NEAR

NEAR Working-level workshop 2017

Ⅱ. NEAR事務局の現況

NEAR

事務局設置

開所日：2005年5月2日

場 所：大韓民国 慶尚北道 浦項市(浦項テクノパーク本部棟3階)

NEAR

2017年度予算現況

歳入：15億ウォン

- 負担金 1.5億(慶尚北道：10.5億、浦項市：4.5億)

歳出：15億ウォン

- 人件費 5.89億(39%)、運営費 5.81億(39%)、事業費 3.3億(22%)

※ 事業費の内訳：実務者ワークショップ(1億)、北東アジア青年リーダーズフォーラム(1億)、NEAR国際フォーラム(1億)、青少年エッセイ・絵画等コンテスト(1百万)、北東アジア交流広場(2百万)

NEAR

事務局の組織及び役割

事務局組織及び人力

事務総長、2部(企画広報部、国際協力部)：17名

- 事務総長、専門委員 9名、慶尚北道派遣 3名、海外会員自治体派遣 4名

組織の機能と役割

総会及び実務委員会議決事項の執行

会員自治体の交流協力事業の推進

連合の長期発展プログラム研究開発

会員自治体間の業務連絡及び調整

連合資料の管理及び情報資料の分析・提供等

NEAR

NEAR Working-level workshop 2017

Ⅲ. 2016年 主要業務推進結果



1. 第11回NEAR総会の開催

- 期間：2016年9月26日～9月29日（3泊4日）
- 場所：ロシア・イルクーツク州
- 参加：約150名（5か国30会員自治体）参加
- 内容：新規会員加入、エネルギー・気候変動分科委員会コーディネート団体交代、準会員制、会費制導入、憲章改定、第12代議長団体の決定など



3. 2016 NEAR 国際フォーラムの開催

- 期間/場所：2016年11月25日～26日、韓国・慶尚北道（安東グランドホテル）
- 参加規模：約330名（5か国35会員自治体85名）参加
- テーマ：観光を通じた北東アジアの協力と発展
- 内容：開会式、発表及び討論、観光広報ブースの運営、文化体験など



2. 分科委員会の活性化支援

- 2016年3月～10月に3つの分科委員会が開催
 - － 防災、鉱物資源開発、教育・文化交流
- 分科委員会の運営実態を総会で報告、分科委員会別の調整に関する事務局からの提案



4. 北東アジア青年リーダーズフォーラムの開催

- 会員自治体の青年が集い、北東アジアを取り巻くイシューについて討議・発表
- その他、特別講演など多様なプログラムを運営
- 第1回
 - － 2016年8月7日～13日、5か国80名 参加
 - － テーマ：私、私達そして北東アジア

5. 第4回青少年 エッセイ・絵画等コンテストの開催

期間 : 2016年4月～8月

参加対象 : 会員自治体の中学生・高校生

テーマ

- エッセイ部門 : 北東アジアを知ろう！-私達にできることを中心に-
- 絵/ポスター部門 : 北東アジアの文化紹介、文化財保護、
北東アジアの環境問題解決に向けた取り組みの様子

受賞者 : 16名(最優秀賞 2名、優秀賞4名、奨励賞10名)

※ 応募作品数 : 93作品(中国10、日本8、韓国26、モンゴル8、ロシア41)

7. 会員自治体の新規加入

- 中国・安徽省、内モンゴル自治区、陝西省、山西省が新規加入(2016年9月)

8. 海外会員自治体の公務員派遣勤務の実施(12年目)

- 2006年3月から、中国、モンゴル、ロシアから各1名の派遣勤務を実施(日本は2007年4月から1名派遣)
- 各国との業務連絡及び意見調整、各国言語のネイティブチェックなどを実施

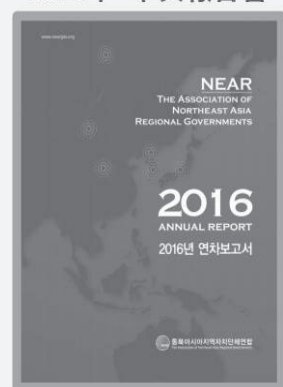
6. NEAR広報物の発刊及びホームページ管理

NEAR News



- ・ 年6回発行(隔月)
- ・ 部数: 総11,950部
- ・ 配付先: 会員自治体、関係機関

2016年 年次報告書



- ・ 年1回発行
- ・ 配付先: 会員自治体、関係機関

NEARホームページ



- ・ 6か国言語で製作
- ・ 連合の交流協力活動、事務局の動静及び推進事業の広報



NEAR Working-level workshop 2017

IV. 2017年 主要業務計画

NEAR

重点推進業務

- 第11回NEAR実務委員会の開催支援
 - ・ 開催時期：2017年9月
 - ・ 開催場所：中国・湖南省
 - ・ 内 容：会費制導入についての詳細計画を協議、分科委員会コーディネート団体交代、次期議長団体の申請
- 2017 NEAR国際フォーラムの開催
 - ・ 開催時期：2017年9月(実務委員会開催期間中)
 - ・ 開催場所：中国・湖南省(調整中)
 - ・ 主催/主管：NEAR、湖南省/NEAR事務局、湖南省商務庁
 - ・ 内 容：会員自治体間の共存協力及び共同発展方案の模索

NEAR

重点推進業務

- 2009～2016 NEAR白書の発刊
 - ・ 期 間：2009年～2016年
 - ・ 言 語：韓国語 ※ 中・日・蒙・露・英語版は2018年初旬に発刊予定
 - ・ 主要内容
 - ① 総会、国際フォーラム、実務者ワークショップ、分科委員会の活動結果
 - ② 77会員自治体の概況資料
- 2017 NEAR年次報告書の発刊
 - ・ 期 間：2017年11月～2018年1月
 - ・ 言 語：6か国語(中・日・韓・蒙・露・英語版)
 - ・ 配 布 先：会員自治体及び関係機関、国際機構等
 - ・ 主要内容
 - ① 総会、国際フォーラム、実務者ワークショップ、分科委員会等の活動事項
 - ② 事務局主催の事業等、連合活動の全般的な事項

NEAR

重点推進業務

- 2017 北東アジア青年リーダースフォーラムの開催
 - ・ 開催期間：2017年8月6日～8月12日(6泊7日)
 - ・ テ ー マ：青年よ！感性と融合し世界をリードせよ！
 - ・ 開催場所：釜山外国語大学校(韓国・釜山広域市)
 - ・ 参加対象：27歳以下の青年
 - ・ 支援内容：航空券代(半額支給)、宿泊先・交通手配等
- 第5回NEAR青少年エッセイ・絵画等コンテストの開催
 - ・ 期 間：2017年4月～8月
 - ・ 参加対象：会員自治体の中学生・高校生
 - ・ テ ー マ：北東アジアの文化を伝える
 - ・ 部 門：エッセイ、絵/ポスター
 - ・ 授 賞 枠：20名(最優秀賞、優秀賞、奨励賞)

NEAR

重点推進業務

- NEAR広報刊行物の発刊
 - ・ 期 間：2017年1月～12月
 - ・ 言 語：6か国語(中・日・韓・蒙・露・英語版)
 - ・ 刊 行 物：NEAR News(年6回発刊)等
 - ・ 配 布 先：会員自治体及び関係機関、国際機構等
- 準会員加入の推進
 - ・ 対象：中央、東南アジアの広域自治体
 - ・ 現在推進中の自治体
 - ベトナム・ホーチミン市
 - カザフスタン・アルマティ市

NEAR

重点推進業務

- 分科委員会の開催支援
 - 2017年度分科委員会の開催及び計画

No	分科委員会	コーディネート自治体	開催時期
1	防災	日本・兵庫県	3月6日～3月9日
2	鉱物資源開発	ロシア・マガダン州	7月13日～7月14日
3	教育・文化交流	日本・島根県	8月18日～8月23日
4	経済・人文交流	韓国・慶尚北道	8月
5	エネルギー・気候変動	中国・山西省	9月初旬
6	海洋・漁業	中国・山東省	9月
7	環境	日本・富山県	秋頃

NEAR Working-level workshop 2017

事務局はいつも会員自治体の近くで、NEARの発展のため最善を尽くします。

ありがとうございます。


北東アジア地域自治体連合事務局
 The Secretariat of the Association of Northeast Asia Regional Governments

NEAR

重点推進業務

- 会費制
 - 導入：第11回NEAR総会で決定
 - 用途：連合の発展と会員自治体の共同目的に符合する事業
 - 会費：年1,000USドル(定額制)
 - 納付：2018年
 - 今後の計画

2017年5月

2017年6月

2017年8月

2017年9月

2018年～

・会員自治体の意見調査
・審議委員の委嘱

・予算案等の編成

・審議委員会の開催

・実務委員会で承認

・会費納付及び事業施行

海洋・漁業分科委員会 業務報告

中国・山東省海洋漁業庁対外協力処長
Xue Jiuming

尊敬するNEAR事務総長、各会員自治体の代表の皆様、ご来賓の皆様、こんにちは。

NEAR会員自治体及び各界の幅広い支持と積極的な協力の下、2009年に海洋・漁業分科委員会が正式に創設されました。中国・山東省青島市、煙台市、威海市で4回の会議を開催したNEAR海洋・漁業分科委員会は、北東アジア地域の海洋漁業分野における交流協力を推進する上で、積極的な役割を果たしています。この場をお借りして、ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

北東アジア地域における海洋関連ハイテク産業発展のため、中国・山東省人民政府とNEARの共催により、「ブルーエコノミー革新発展国際ハイレベルフォーラム」を2017年9月に山東省煙台市で開催する予定です。煙台市は中国の沿岸地域に位置しており、対外協力が円滑に行われる都市であり、便利な交通と経済が発展した、中国で重要な地域の一つです。

フォーラムでは、海洋経済の発展に必要な「新技術、新商品、新応用」に関連する内容についての研究・討論が行われる予定であり、産業革新、技術革新、管理革新、ビジネスパターンの革新などのために互いの経験を共有し意見を提示できる場として設けられます。フォーラムの内容をより豊かにするため、国際的な専門家や学者、企業関係者、政府関係者の招待講演を行う予定です。また、開催期間中、参加者向けの特色ある現地産業視察や協力相談を準備しています。

私達は今回の行事を通じて、各会員自治体や企業からの参加者が相互の理解と交流を一層深めることができると確信しています。暖かいもてなしの心を持つ山東省の人々が、会員自治体と各界の関係者の皆様の訪問を心からお待ちしております。

エネルギー・気候変動分科委員会の開催

中国・山西省外事弁公室主任
Wu Shaozhong

昨年9月に開催された第11回総会で、山西省は正式にNEARに加入し、同時に、エネルギー・気候変動分科委員会のコーディネート団体に選定されました。山西省人民政府を代表し、支持していただいた皆様に心から感謝申し上げます。

1. 山西省の基本現況

中国の中部に位置する山西省は、面積15.6万km²、人口は約3,600万人です。基本現況について、3つの点から簡単にご説明させていただきます。第一に、「悠久の歴史を誇る地域」です。文字で記録された歴史だけでも3千年に達します。第二に、「観光が発達した地域」です。毎年4億人以上の観光客が訪問し、500億ドルを超える観光収入を記録しています。第三に、「エネルギー資源が豊富な地域」です。既に確認されている鉱物資源だけでも118種類に達し、このうち石炭層ガスなど5種類の資源は中国で1位の埋蔵量を誇ります。

2. エネルギー・気候変動分科委員会について

近年、山西省はエネルギー発展及び気候変動対応において、多くの効果的な措置を講じました。第一に、古くなった石炭生産設備の撤去をはじめとする安定性の向上と現代的な坑道の建設に力を注いでおり、2017年には約2,000万トン程度減産される予定です。第二に、クリーンで効率的な石炭の使用を大々的に推進しています。具体的には、投資基金の設置によるクリーンエネルギーの供給拡大や、全ての発電所を対象とした汚染物質の排出低減、石炭化学工業の発展加速化等が挙げられます。第三に、再生可能エネルギーの開発に積極的に取り組んでいます。山西省の再生可能エネルギー設備は、2016年12月までに全体の総エネルギー生産設備の22.9%を占めました。風力や太陽光等の設備の製造を中心とした再生可能エネルギー産業のチェーンが形成され、1.5～6テラワット級の風力発電機設備、多結晶電池、高効率セル（PERC）、ヘテロ接合型電池等の生産ラインの分野で顕著な成果を見せています。第四に、全力を尽くして気候変動に対応しています。山西省は「気候変動対応方法」を正式に宣言し、6か所の温室ガス観測所を設立しました。また、22の国家級・省級の低炭素都市・団地としてモデル地域の建設を拡大実施し、温室効果ガスの排出量を二酸化炭素基準で年間1,365万トン削減する予定です。第五に、革新を通じた発展です。科学技術革新タウンを建設し、解決すべき課題の提示と設立経費の出資を通じて、世界の低炭素研究機関を誘致し協力を図っていきます。現在、山西省には、既存エネルギーの低炭素発展と新エネルギーの発展の面で巨大な市場が形成されており、限らない協力の可能性があります。山西省は、皆様との交流・協力を心から望んでいます。私は、エネルギー・気候変動分科委員会がこうした交流の良い機会になると考えています。今回のエネルギー・気候変動分科委員会は、「エネルギー発展と気候変動」をテーマに、9月に山西省太原市で開催する予定です。期間中は、フォーラム、ビジネスマッチング、産業視察等を通じて各地域の専門家、学者、企業関係者が集まり、情報交流や優秀事例の共有により気候変動への対策を模索し、北東アジア地域のグリーン発展に寄与します。

3. 太原フォーラムについて

続いて、「太原低炭素発展フォーラム（略称：太原フォーラム）」について皆様にご紹介いたします。エネルギー・気候変動分科委員会の翌日に開催する予定の同フォーラムでは、世界各国の政界関係者、専門家、学者、世界500大企業の関係者が出席し、低炭素発展の機会と課題について共に討議します。低炭素発展とエネルギー・気候変動には密接な関係がありますので、分科委員会の終了後は是非「太原フォーラム」にもご参加をお願いいたします。

最後に、改めて、山西省のエネルギー・気候変動分科委員会と太原フォーラムに皆様をご招待するとともに、より多くの交流と協力ができることを期待します。
ご清聴ありがとうございました。

NEAR

北東アジア地域自治体連合（NEAR） 環境分科委員会の活動報告及び計画について

富山県総合政策局国際課

1

NEAR

① 北東アジア地域環境体験プログラム

○北東アジア地域の青少年が集まり、環境問題に関する意見交換や環境保全活動を体験し、国際交流を通じて、この地域の環境保全に取り組む人材を育成するもの。

期 間：2016年8月19日（金）～20日（土）
場 所：ロシア沿海地方
参加者：日本、中国、韓国、ロシア（4カ国8自治体）の小中高生59名
内 容：「生物多様性保全」をテーマに、環境に関する日頃の活動発表やポスター発表、海洋ごみを利用したアート制作を実施し、「2016環境宣言文」を発表





環境に関するポスター制作 活動報告 ポスターセッション

3

NEAR

NEAR環境分科委員会

- ◆ 北東アジア地域の環境保全対策を推進するため、各国自治体間の連携による個別プロジェクトの検討・成果報告や相互の情報交換を実施。
- ◆ 日・中・韓・蒙・露の自治体が参加し、富山県がコーディネート自治体として、会議の開催や運営、調整等の役割を担っている。

個別プロジェクトの実施状況（2016年4月～2017年3月）

1 北東アジア地域環境体験プログラム
（提案：富山県、ロシア沿海地方）

2 海辺の漂着物調査・漂着物アート製作
（提案：富山県）

3 北東アジア地域環境ポスター展（提案：韓国江原道）

4 海岸生物調査（提案：富山県、ロシア沿海地方）



2

NEAR

② 海辺の漂着物調査と漂着物アート制作

○海辺の汚染実態を継続的に把握し、海洋環境保全対策等の基礎資料にするとともに、海洋漂着物を利用したアート作品の制作体験を通して「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心を育む」という共通意識を醸成し、環境教育を推進するもの。

<海辺の漂着物調査>

期 間：2016年秋期
場 所：北東アジア地域の海岸
参加者：日本、韓国、ロシアの16自治体
内 容：参加者が海辺の漂着物を回収・分別し、種類別に個数及び重量を調査

<アート制作>

期 間：通年
場 所：各参加自治体の会場等
参加者：富山県、福井県
内 容：漂着物を利用したアート作品を制作





漂着物調査の実施風景 アート制作

4

③北東アジア地域環境ポスター展

○北東アジア地域の次代を担う子どもたちの「環境保全」をテーマとしたポスターを一堂に展示し、市民の北東アジア地域の環境保全意識を一層深める機会とするもの。

期 間：2016年11月

場 所：韓国江原道

参加者：日本、中国、韓国、モンゴル、ロシアの9自治体

内 容：北東アジア地域の子どものポスター72作品を展示



ポスター展の開催風景

5

今後の活動計画

◆ 2017年は、提案のあった個別プロジェクトを実施するとともに、秋頃には、北東アジア地域自治体連合第13回環境分科委員会を日本国富山県にて開催予定

個別プロジェクトの実施予定（2017年4月～2018年3月）

- 1 北東アジア地域環境体験プログラム（提案：韓国慶尚南道、富山県）
- 2 海辺の漂着物調査・漂着物アート製作（提案：富山県）
- 3 北東アジア地域環境ポスター展（提案：富山県）
- 4 北東アジア地域海岸生物調査（提案：富山県）

7

④北東アジア海岸生物調査

○海の生物への興味を深めてもらい、環境保全・生物多様性保全の意識高揚を図るため、各地域に生息する生物の生息調査を実施するもの。

期 間：2016年8月～9月

場 所：各参加自治体の海岸

参加者：日本、韓国、ロシアの7自治体

内 容：海岸の生物を収集し、観察生物名・写真を記録する。また、地球温暖化に係る指標生物（2016年はスナガニ）の存否を確認する。



調査の実施風景

6

「2016北東アジア自治体環境専門家会合inとやま」の開催

- 2016年5月に本県で開催された「G7 富山環境大臣会合」をふまえて、今後の北東アジア地域における環境保全に向けた連携強化を図るため、日中韓露の自治体や大学等の専門家の参加を得て開催
- 大臣会合で取り上げられていた、気候変動、生物多様性、海洋ごみを中心に、自治体レベルで今後取り組むべきことについて確認し合い、本地域の環境問題の解決に向けた「2016とやま宣言」を採択
- 今後、宣言に基づく取組みの実施状況をNEAR環境分科委員会で確認すること合意

【会議の概要】

期 日：2016年5月23日（月）

場 所：日本国富山県

主 催：富山県、（公財）環日本海環境協力センター

参加者：北東アジア地域の自治体関係者及び
経済界・学界からの有識者 37名

内 容：「2007とやま宣言」に基づく取組成果、北東アジア地域で新たにに取り組むべき環境保全活動について議論し、「2016とやま宣言」を採択



8



富山県の魅力

Japan. Endless Discovery.

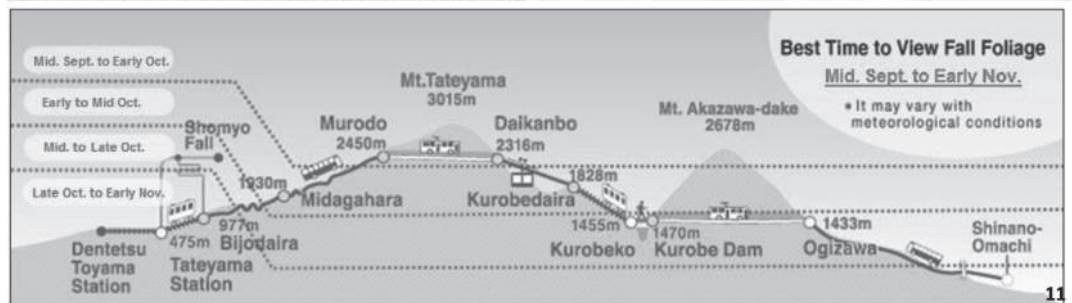


世界に誇る「立山黒部アルペンルート」②

秋 日本で1番早くそして長く紅葉が楽しめる
10月下旬からは真っ白な新雪体験

紅葉の見頃：9月下旬-11月上旬
営業期間：4月15日-11月30日





Best Time to View Fall Foliage
Mid. Sept. to Early Nov.
* It may vary with meteorological conditions

世界に誇る「立山黒部アルペンルート」①

春 日本で唯一の絶景！
20mの高さに迫る巨大な雪壁「雪の大谷」

夏 日本一のアーチ式ダム「黒部ダム」
のダイナミックな観光放水（6月26日～10月15日）

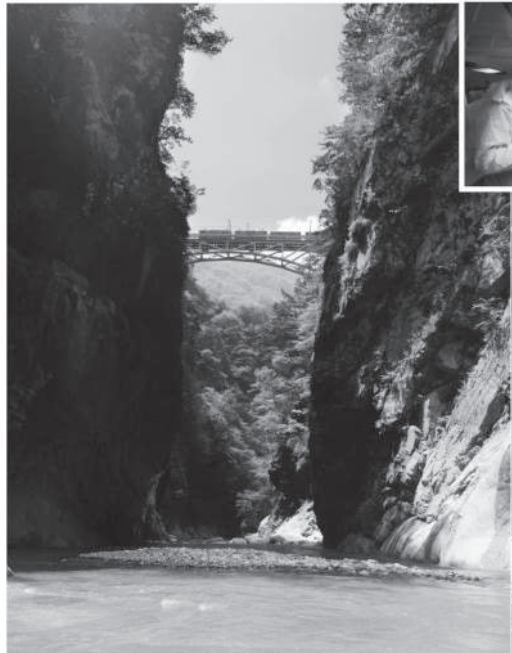




「雪の大谷ウォーク」4月15日-6月22日

8月でも雪！

天下の絶景 黒部峡谷鉄道『トロッコ電車』①






日本一の深さのV字峡谷の上を走るトロッコ電車！

営業期間：5月1日-11月30日

天下の絶景 黒部峡谷鉄道『トロッコ電車』②

トロッコ電車の後はゆったりと温泉で・・・

黒部峡谷鉄道からすぐ近く！
つべつべ美肌の湯「宇奈月温泉」

- 富山県随一の温泉＜宿泊施設 約20軒＞
- 美肌の湯としての条件が揃った泉質



大自然を望む露天風呂で心も体もリフレッシュ



冬の土曜（2～3月毎週）には恒例の「雪上火花大会」も！

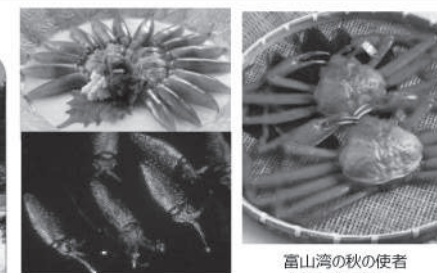
13

富山ならではの食の魅力

「天然の生け簀」富山湾



富山でしか味わえない最高のすし「富山湾鮓」



富山湾の神秘「ホタルイカ」

富山湾の秋の使者「ベニズワイガニ」



富山湾の宝「シロエビ」



富山湾の王者「寒ブリ」

ご当地グルメ



「富山ブラックラーメン」
黒いスープが特徴！一度
食べるとやみつきになる味

15

世界遺産 五箇山合掌造り集落

世界遺産 菅沼集落 & 相倉集落 国指定史跡・世界文化遺産



ライトアップされた冬の合掌集落の景色は、まるでおとぎ話の世界！



ライトアップ（予定）

【相倉集落】2017年11月16日～19日

【菅沼集落】2018年2月～3月

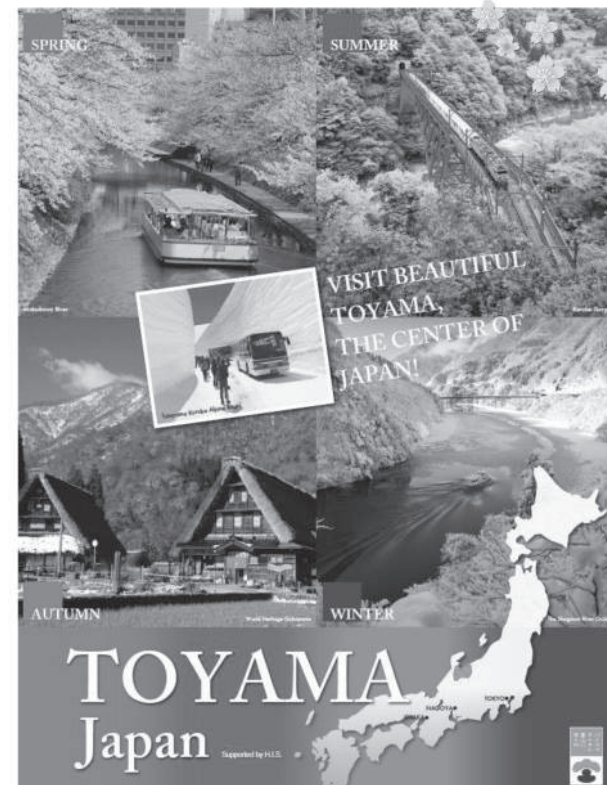
※指定日に限る

詳しくはホームページをご確認ください。



【紅葉の見ごろ】
10月下旬-11月上旬

14



Japan. Endless Discovery.

ご清聴
ありがとう
ございました。



16




防災分科委員会の広報

【第15回防災分科委員会の活動報告及び次回開催の計画について】

2017年4月20日（木）

兵庫県国際交流

Hyogo Prefectural Government



2 . 第15回防災分科委員会



兵庫県広域防災センター



参加人数

4カ国、15自治体、29名
 湖南省、黒竜江省、山西省、仁川広域市、大邱広域市、慶尚北道、全羅北道、アルハンガイ県、オブス県、スフバートル県、バヤン・ウルギ県、ヘンティ県、ホブド県、ボルガン県、沿海地方、NEAR事務局

主な日程

3月6日(月)：歓迎交流会
 3月7日(火)：①人と防災未来センター視察
 ②講義「兵庫の防災」
 ③アジア防災センター、国際復興支援プラットフォームとの意見交換
 3月8日（水）：視察
 ・兵庫県広域防災センター
 ・理化学研究所スーパーコンピューター「京」
 ・こころのケアセンター

人と防災未来センターでの講義





1 . 阪神・淡路大震災



阪神高速道路神戸線



震災の規模

【日時】 1995年1月17日 5時46分
 【震源】 淡路島北部 深さ16km
 【規模】 M7.3 観測史上初の震度7

被害規模

【被害】
 死者数 6,402人
 直接被害額 約10兆円（約1000億ドル）
 全壊家屋 104,004棟（182,751世帯）
 避難者数 316,678人（1995.1.23）

ガレキで覆われた街（神戸市長田区）





3 . 次回の開催計画



(1)時 期:2018年3月(予定)
 (2)テ ー マ:防災・減災に関する情報システム(仮)
 (3)場 所:兵庫県神戸市 他

震災の経験と教訓を伝える「人と防災未来センター」







4 - 1 . 兵庫県の観光資源等





姫路城





竹田城跡



明石海峡大橋と孫文記念館



有馬温泉



ご清聴ありがとうございました。





兵庫県マスコット「はばタン」



4 - 2 . 兵庫県の観光資源等 (飲食物)





神戸ビーフ



神戸スイーツ



海産物 (松葉ガニ、明石鯛)



日本酒 (生産量日本一)

NEAR教育・文化交流分科委員会事業報告

2016 北東アジア交流の翼INしまね

2016年8月19日（金）～ 8月24日（水）

島根県環境生活部
文化国際課

プログラムの概要

(1) 開催日程

2016年8月19日～8月24日

(2) 目的

北東アジア地域の青年が島根県に集い、
様々な交流を通じて相互理解と友好を
深め、将来につながるネットワークを築く。

(3) テーマ

「観光（インバウンド）」

3

「新しい出会い」 INしまね

・・・2016年夏、
北東アジアの青年が島根県に集いました・・・

参加メンバー

◆中国、韓国、ロシア、モンゴル、
日本から計25人の青年が参加

※ゴビ・アルタイ県が初参加、イルクーツク州が4年ぶりに参加

◆NEAR事務局も来訪し、青年を激励



4

「特別な毎日」 INしまね

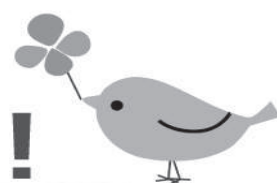
…さあ、プログラムがスタートしました。
初めての体験もありました…

Happy to See You!



7

Welcome to Shimane!



6

ENJOY HOME STAY!

日本の家族とともに…



8



GROUP WORKING

北東アジアの将来を担う
青年たちが熱心に議論



グループごとに意見をまとめて
提言や参考事例として発表

2017開催計画

- (1) 開催日程
2017年8月18日(金)～8月23日(水)
- (2) 参加対象
NEAR会員自治体の青年 20名程度
※18歳以上30歳以下で日本語会話可能な者
- (3) 募集時期
調整中（事務局経由で別途通知）

15

FAREWELL PARTY



14

See you Soon!



16

ご清聴
ありがとうございました。
ございました。



17

会員自治体の発表

湖南省(議長団体)の現況 [中国・湖南省]

青年交流を通じた共同発展の推進 [中国・陝西省] ※ 資料なし

メディシティー大邱 [韓国・大邱広域市]

アジア・太平洋都市首脳会議(APCS) [韓国・大田広域市]

2017堤川国際漢方バイオ産業エキスポ [韓国・忠清北道]

ホーチミン・慶州世界文化エキスポ2017の開催 [韓国・慶尚北道]

第2回UCLG世界文化首脳会議 [韓国・済州特別自治道]

スフバートル県の現況 [モンゴル・スフバートル県]

湖南省（議長団体）の現況

中国・湖南省人民政府 外事弁公室
友好協会弁公室 副主任 Zeng Zhuoran

尊敬するNEAR事務総長、NEAR会員自治体の皆様、こんにちは。

私は中国・湖南省人民政府外事弁公室所属の曾卓然です。まず、実務者ワークショップの準備にご尽力いただいたNEAR事務局、済州道庁の関係者の方々に感謝申し上げ、湖南省を代表して発言する機会をいただいたことを光栄に思います。

皆様の全面的な支持の下、昨年9月のNEAR総会で、湖南省は今期の議長団体に選ばれました。私達は、「一つの北東アジア、一つの共同体」というNEARの趣旨を踏まえ、連合憲章に基づいて議長団体としての責任を果たします。私達は、皆様が持続的に声援を送ってくださることを願っています。

この場を借りて、湖南省について簡単に紹介させていただきます。

湖南省は中国の中部に位置しており、中国で2番目に大きい淡水湖である洞庭湖の南にあることから「湖南」とい名付けられました。湖南省の総面積は21.18万㎡、人口は7,200万人です。昨年の地域内総生産（GRDP）は3.1245兆円で、中国内第9位でした。

湖南省は美しい自然景観をはじめ悠久の歴史と多様な文化の故郷であり、堅固な産業インフラと地理的な利点を有しています。

湖南省は「魚米之郷（魚と米が豊富な土地）」「非鉄金属の故郷」「非金属鉱物資源の故郷」としても有名です。また、世界自然遺産に登録されている世界地質公園の張家界や、中国丹霞（赤い堆積岩が織り成す地形）の博物館とも呼ばれる衡山、鳳凰古城、中国五岳の一つである衡山は、国内外で名高い湖南省の観光名勝地です。

中華人民共和国の創始者、毛沢東の故郷として有名な湖南省は、中華文明の最も重要な発祥地の一つであり、世界最小の米と中国最初の都市が発見されたこともあります。

湖南省は伝統的に農業に基盤を置いていますが、改革開放の時代の流れに沿って、現代工業が発展した地域へと変わりました。全体的に産業分野が均一に分布しており、総生産額が1兆元を超える産業として機械、食品、石油化学、非鉄金属等の11分野があります。また、建設機械、鉄路交通設備等の優良産業も着実に発展しています。

中国最長の2つの高速鉄道である北京－広州路線と上海－昆明路線は、湖南省長沙市で交差します。湖南省は6つの空港を有しており、100以上の国内航空路線が開通しています。また、湖南省から直行便で、アメリカ、ドイツ、日本、シンガポール、タイ、韓国等の国々と香港、マカオ、台湾に行くことができます。

来たる9月、湖南省で第11回NEAR実務委員会を開催します。中国・湖南省を代表し、皆様のご訪問を心から歓迎します。また、NEARの関連行事にも積極的にご参加ください。

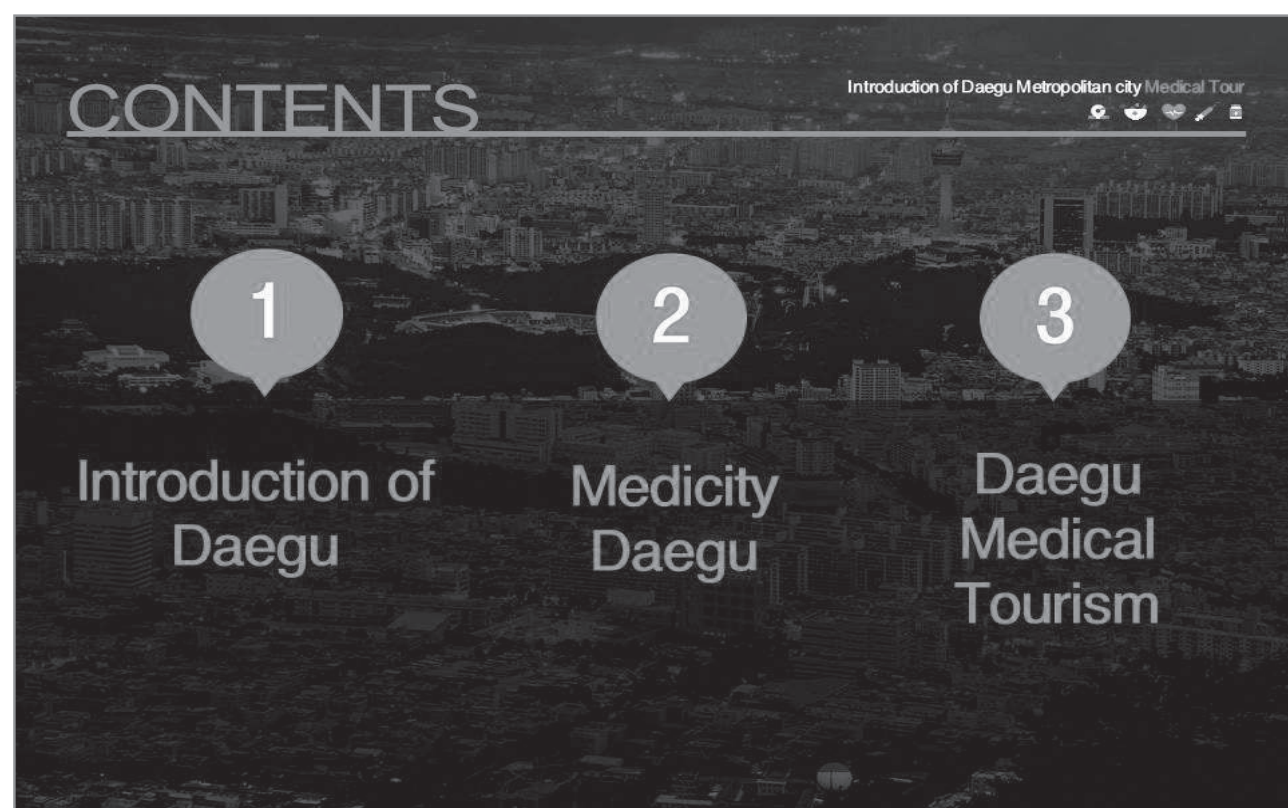
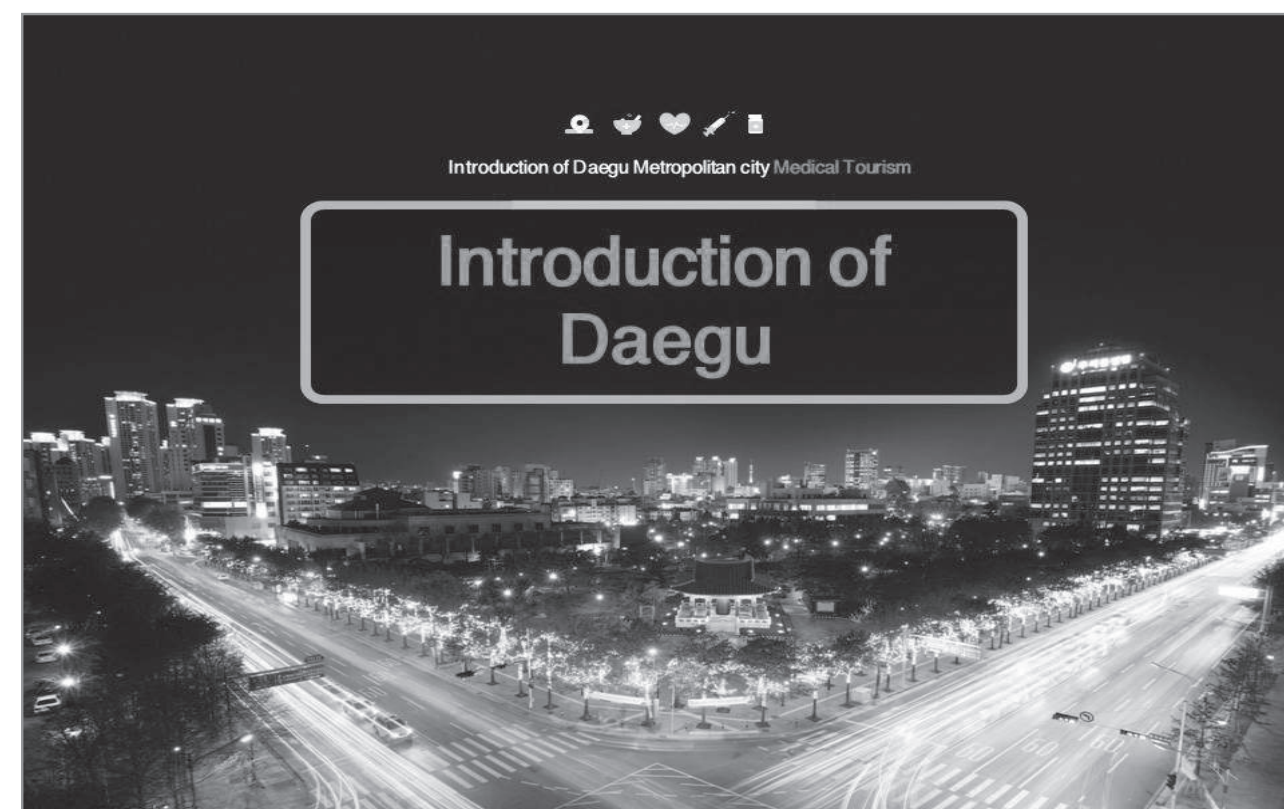
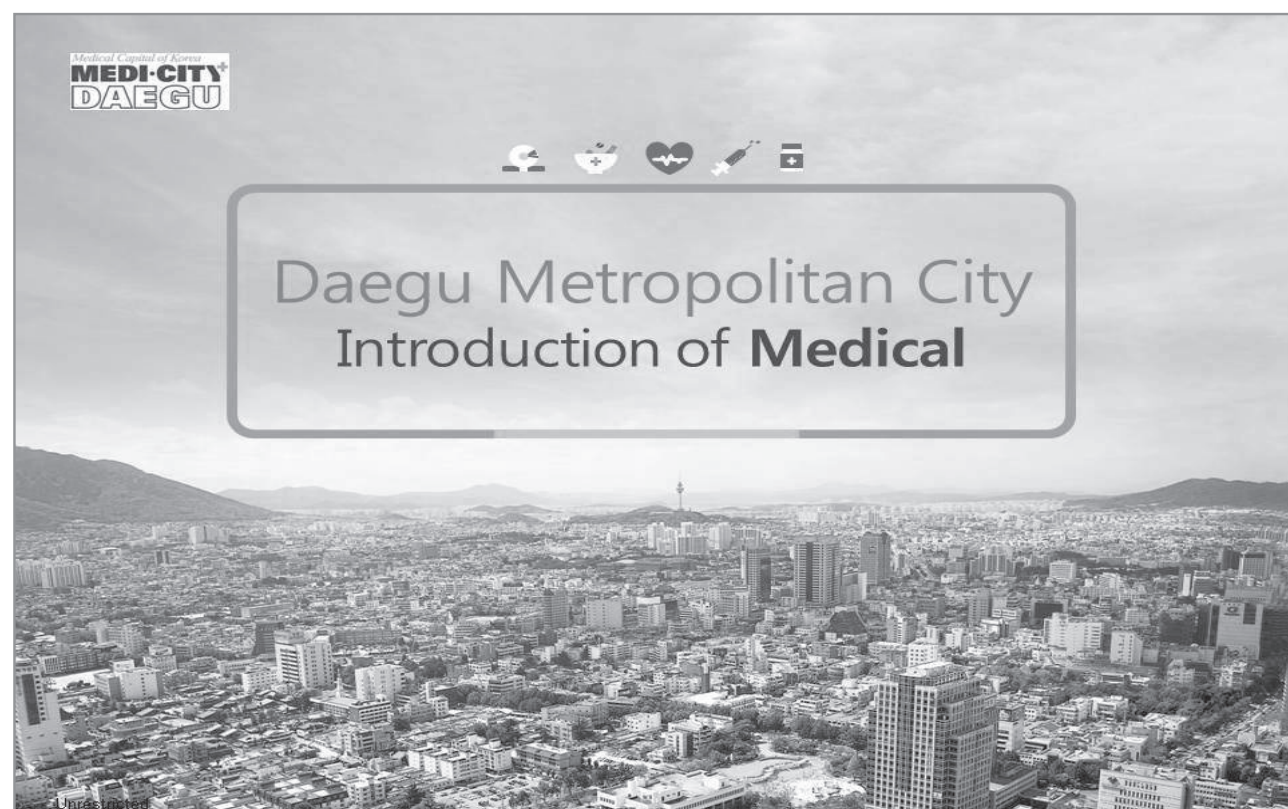
実務委員会にお越しの皆様を歓迎するため、世界自然遺産である張家界で開催することとしました。

本日は、張家界の広報映像を準備しています。張家界地域で暮らす少数民族のラブストーリーと

美しい風景をお届けします。それではご覧ください。

映像はごく一部に過ぎません。真の美しい湖南を感じるために、実際に訪れてください。湖南省でお待ちしています。

ご清聴ありがとうございました。



대구광역시 의료관광 소개

02 | City of politics and economy that brought about today's Korea

Politics

“Produced 4 Presidents of Republic of Korea (out of 11)”

Beauty

“Famous for many beauties Song Hye-kyo & Son Ye-jin”



Economy

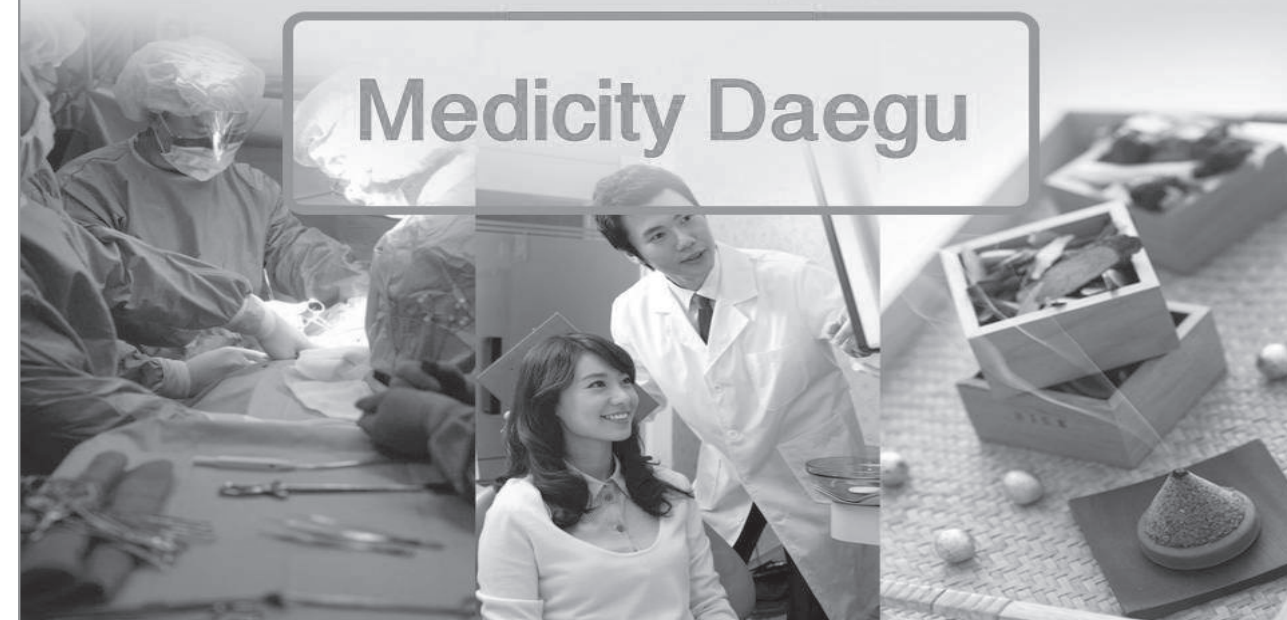
“Home to the global corporation Samsung, lead Korea's industrialization by textile industry”



5

Introduction of Daegu Metropolitan city Medical Tourism

Medicity Daegu



대구광역시 의료관광 소개

03 | Global City connecting to the World

Hosted world's three sports events



Olympic(1988)



World Cup(2002)

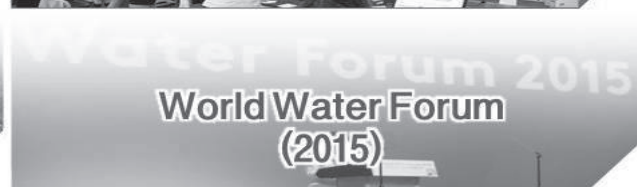


World Championships in Athletics(2011)

Hosted world-class global conferences



World Energy Congress (2013)



World Water Forum (2015)



World Gas Conference (2021)

6

01 | Medical City with history and tradition

358 years of tradition
Yangyeongsi



Dongsan Medical Center
Jejungwon, the second private
Western medical institution (1899)

Kyungpook National Univ.
Hospital
Dongin medical center, the second public
Western medical institution (1907)



5 medical schools,
Approx. 3,300 hospitals, Approx.
17 thousand medical personnel
Abundant Medical Infrastructure



Holding Korea's only
Medicity brand
Announcement of Medicity Daegu in 2008.
Awarded with Korea Master Brand Awards
for two consecutive years
(sponsored by Korean media)



Development of High-tech Medical Complex

- “Comprehensive service including R&D and clinic for development of new drugs and high-tech medical equipment”
Research Centers and 109 Corporates

Period	2009 ~ 2038 (land development 2010 ~ 2013)
Project Cost	USD4.6Billion (Government 1.1, Local 0.7, Private 2.8)
Size	2.14 million m ² (High-tech Medical Complex 1.04 million m ² , Medical R&D district 1.09 million m ²)



Suseong Medical District Development

- Development of ‘Stay Medical Tourism District’ by hosting Medical Tourism Hotel and Global Medical Center

Period	2008 ~ 2017
Project Cost	USD 600Million
Size	1.2km ²



01 Development plan for Medical Tourism of Daegu

Vision Hub of Asia's Medical Tourism “Medicity Daegu”

Target Hosting 200,000 medical tourists by 2030

4 Major Strategies

Country-tailored strategy

Develop medical technology Representative of Daegu

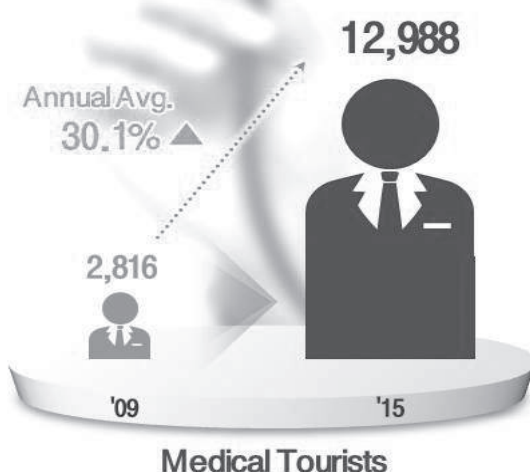
Constant Preparation for groundwork of Medical Tourism

Strengthening of Medical Tourism Competence and Medicity PR

02 | Surge of Medical Tourists

Year '09: 2,816 → Year '15: 12,988

Annual avg. increase of 30.1%



Analysis of medical tourists in Daegu (year 2015)

Treatment: Skin care (2,710) Internal Medicine (1,992) Dentistry (1,645) Integrated Medicine (986)

Country: U.S. (4,632) China (3,864) Vietnam (809) Philippine (386) Russia (291)

Total Medical Charge / Per capita: KRW 16.1B / 1.24M



13

04 | Leading Medical Technology

Severe illness

- 01 Minimally Invasive Cancer Surgery
- 02 Integrative medical Center of Western and Korean medicine
- 03 Center for Respiratory Disease
- 04 Center for Rheumatoid Arthritis
- 05 Reconstruction Plastic Surgery
- 06 Hand Replantation Surgery
- 07 National Heart Center
- 08 The seven cancers of Korea

Indisposition

- Hair Implant
- Physical Check-up
- Dentistry
- Plastic Surgery
- Ophthalmology
- Skin Care
- Korean Medicine
- Beauty

15

03 | Daegu Medical Tourism System

Daegu Medical Tourism Information Center

MEDI-CITY
DAEGU



dcvb
DAEGU
Convention & Visitors Bureau

exco
Time for you

Policy decision & Support

- Daegu Medical Tourism Hub Promotion Division
- Daegu Medical Tourism Council
- Daegu Medical Tourism Committee

Medical Service

- Leading Medical Institutions (incl. 5 Univ. hospitals)
- Foreign Patient accommodation/modifying medical institutions

Tourism Service

- Daegu Tourism Association
- Daegu Convention & Visitors Bureau
- Hotel, Dept. store, Duty Free Shop

Marketing & Promotion

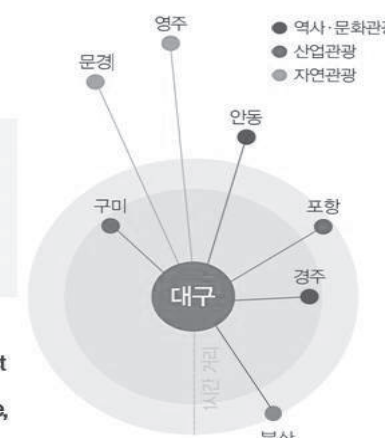
- Exco
- Foreign Patient hosting Agency
- Domestic / Overseas Partners

14

05 | Tourism hub of Yeongnam region

Tourist destinations Busan, Gyeongju, Andong, Pohang, Gumi, etc. within 1 hour distance

- 01 Medical Service + Historical, Cultural Tourism
Development of product linking historic sites of Gyeongju and Andong with skin care, plastic surgery
- 02 Medical Service + Industrial Tourism
Development of product linking Busan(port), Gumi(Samsung Electronics), Pohang(POSCO) industrial facility visit and incentive tourism with physical check-up
- 03 Medical Service + Nature Tourism
Development of well-being/relaxation product linking spa, leisure, relaxation facilities in Cheongdo, Mungyeong with Korean medicine,



16

06 Daegu City Govt' s Medical Tourism Guarantee policy

1 Establishment of Medical Tourism Promotion Center → Integrated Medical Tourism Service(Medical Tourism Information Center)



17

3 Established medical malpractice distrust prevention system

01 Leading Medical Institution holding damage compensation insurance

02 First city govt. to hold assurance insurance plan for int' l patients
(Compensate a maximum of 50 million KRW)

03 City govt' s own medical dispute resolution committee



19

2 Operation of Daegu City selected Leading Medical Institutions (45 institutions)



Strict selection criterion

Univ. hospital 5, hospital-class 19,
Private hospital 21



18

04 Various Global Network

Establishment of overseas PR centers for 「Medicity Daegu」 medical tourism (13 centers in 7 countries)

China 7, Cambodia 1, Vietnam 1, Canada 1, Russia 1, Kazakhstan 1, Philippines 1



20

○ Support for overseas expansion of medical institutions

China

China Xi'an
Opening of "Korea-China Plastic Surgery Center" with Xian medical school ('16. 1),

China Ningbo
In progress of establishing Korea-China joint medical institution (Dongwon Investment Group)

China Qingdao
In progress of establishing Int'l Medical Center (Qingdao International Economic Zone)

China Shanghai
In progress of establishing Korea-China joint medical institution (HongSung Group)

China Chengdu
In progress of establishing Korea-China joint medical check-up center (Samwon Group)

Vietnam Da Nang
Opening of "Family BL Plastic Surgery Dermatology Center" ('16. 3)

21

Daegu city guarantees the Foreign Patients to enjoy the medical services and tourism safely and conveniently.

MEDI-CITY DAEGU

대구광역시
DAEGU METROPOLITAN CITY

07 | K-Medical Center Established

○ Outline

- Location : In the High-tech Medical Complex area
- Project Scale : Site 10,052 m², total ground area 10,800 m² basement level 1, ground level 5
- Project period/expenses : 2016~2018 / USD 3.23 Million national govt expense 26.3, local govt expense 60
- Supervising Institution : Korea Health Industry Development Institute

○ Main Contents

- Operation of medical simulation training center, targeted for foreign medical personnel
- Operation of the public information hall for the newest medical device

↓

Central Institutions of Medical Tourism

22

HOST CITY
DAEJEON
METROPOLITAN CITY

AN INITIATIVE OF
brisbane
METROPOLITAN CITY

2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM

Daejeon, Korea
10-13, September

2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM

2017APCS Overview | Program at a Glance

Time	10 Sept. (Sun.)	11 Sept. (Mon.)	12 Sept. (Tue.)	13 Sept. (Wed.)
06:00-07:00			Mayors' Urban Walk	
07:00-08:00				
08:30-09:00		Keynote Speech 1	Keynote Speech 2	
09:00-09:30		Plenary Session 1	Plenary Session 3	Keynote Speech 3
09:30-10:00			Exhibition & Business Meeting	
10:00-10:30		Coffee Break	Coffee Break	Young Professionals' Presentation
10:30-11:00		Concurrent Session 1-4	Concurrent Session 9-12	Coffee Break
11:00-11:30		Young Professionals' Forum 1	Young Professionals' Forum 3	Signing of the Mayors' Accord & Closing Ceremony
11:30-12:00			Exhibition & Business Meeting	Closing Lunch
12:00-12:30	Sister Cities' Reception	Lunch	Lunch	
12:30-13:00				
13:00-13:30		Plenary Session 2	Plenary Session 4	
13:30-14:00				
14:00-14:30		Concurrent Session 5-8	Concurrent Session 13-16	
14:30-15:00		Young Professionals' Forum 2	Young Professionals' Forum 4	
15:00-15:30			Exhibition & Business Meeting	
15:30-16:00				
17:00-17:30	Opening Ceremony			
17:30-18:00	Welcome Reception			
18:00-18:30		Mayors' & Young Professionals' Dinner	2017APCS Gala Dinner & Outdoor Concert	
19:00-21:00				

2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM

2017APCS Overview

Title	2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM (2017APCS)
Date	10 (Sun.) ~ 13 (Wed.) September 2017
Venue	DDC (Daejeon Convention Center), Daejeon Metropolitan City, Republic of Korea
Hosted by	HOST CITY DAEJEON METROPOLITAN CITY AN INITIATIVE OF brisbane METROPOLITAN CITY
Organized by	DIME 대한국제개발공사
Expected No. of Delegates	1,500 delegates from over 100 cities
Programs	Opening & Closing Ceremonies, Conference, Mayors' Forum, Young Professionals' Forum, Exhibition, Business Meeting, Reception, Gala Dinner, Social Events
Theme	Shaping the Future of the Asia Pacific
Sub Theme	Innovating Cities through Science and Technology Revitalising Cities through Vibrant Business Activities Developing Sustainable Cities through Creative Economy Recreating Cities through Art and Culture

2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM

2017APCS Overview | 2017APCS Expected Number of Participants

1,500 delegates from over 100 cities across Asia, Oceania, Americas, Europe, Middle East and Africa

25 cities confirmed their attendance as of March 8, 2017.

Asia (14)

- Guangzhou, China
- Jinan, China
- Nanjing, China
- Qingdao, China
- Shenyang, China
- Wuhan, China
- Ulaanbaatar, Mongolia
- Ohda, Japan
- Sapporo, Japan
- Taichung, Taiwan
- Taitung, Taiwan
- Taipei, Taiwan
- Binh Duong, Vietnam
- Shymkent, Kazakhstan

Oceania (3)

- Brisbane, Australia
- Sunshine Coast, Australia
- Honiara, Solomon Islands

Europe (2)

- Khar'Kov, Ukraine
- Novosibirsk, Russia

Americas (4)

- Maui City, United States
- San Francisco, United States
- Seattle, United State
- Washington D.C., United States

Middle East (1)

- Abu Dhabi, UAE

Africa (1)

- Durban, South Africa

2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM

2017APCS Overview | Key Highlights

Diverse array of 2017APCS programs including sessions, networking opportunities and social events

Session

- Keynote Speech
- Plenary Session
- Concurrent Session
- Business Session

Features

- Mayors' Forum
- Young Professionals' Forum
- Mayors' & Young Professionals' Dinner
- Young Professionals' Presentation
- Signing of the Mayors' Accord

Social & Networking Event

- Welcome Reception
- Mayor's Urban Walk
- Gala Dinner & K-Pop Concert
- Special Event

2017APCS Market Square

- Business Meeting(B2B Matchmaking)
- Exhibition

5

2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM

Session | Keynote Speech

World-class Keynote Speakers have been confirmed for 2017APCS.

Keynote Speaker 1

CHERIE BLAIR
Founder of the Cherie Blair Foundation for Women

- Committed campaigner for women's rights
- Awarded a CBE (Commander of the Most Excellent Order of the British Empire) in 2013

Keynote Speaker 2

JARED COHEN
President of Jigsaw (previously Google Ideas)

- Secretary of State's Policy Planning Staff
- Adjunct Senior Fellow at the Council on Foreign Relations

Keynote Speaker 3

THOMAS FREY
Senior Futurist at DaVinci Institute

- Google's top rated Futurist Speaker
- Engineer with IBM for 15 years

7

2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM
Daejeon, Republic of Korea
10-13 September

Session

- Keynote Speech
- Plenary Session
- Concurrent Session
- Business Session

2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM

Session | Plenary Session

World-class Plenary Speakers have been confirmed for 2017APCS.

Plenary Session 1

PETER BISHOP
Professor, the Bartlett School of Architecture, University College London

- British capital, City planning director

Plenary Session 2

GREG CLARK
Professor of the Urban Innovation Centre

- Chairman of the Business of Cities Ltd
- Non-executive director on cities and urban development

Plenary Session 3

ROBERT GRIEVES
Chairman and CEO of Hamilton Advisors

- Founder, Chairman and CEO of Hamilton Advisors Limited
- Journalist, The Times, The Economist and Forbes

Plenary Session 4

IAIN WATSON
Professor, Deputy Vice Chancellor, The University of Queensland

- Executive Dean of the Faculty of Business, Economics and Law
- Consulting Editor for The New York Times

8

2017APCS Sessions are OPEN TO ALL government & business leaders and industry experts

Concurrent Session

All participants who want to give a talk are welcome to address critical issues affecting cities including 4 sub-themes of 2017APCS

- Session Length: 60 minutes
- Audience Size: 100-200 people



Business Forum

Sponsors/Individuals have the opportunity to share information and interact with participants on the stage of exhibition hall. It will be indeed a great chance for companies to promote themselves as well as products and technologies.

- Session Length: 15-30 minutes
- Audience Size: 100-200 people



9

Mayor's Forum

To share knowledge, develop solutions for issues regarding city governance
To promote the growth and prosperity of cities across the Asia Pacific region

WHO?

- Leaders of local government
- Mayor and Deputy Mayor, etc.
- Invited only

WHAT?

- Learn about each other's success
- Identify common agenda
- Develop solutions for the prosperity of cities across the Asia Pacific region

HOW?

- Give a short presentation by facilitator
- Adopt the Mayors' accord that addresses the future of urban governance and represents the outcomes of the 2017APCS



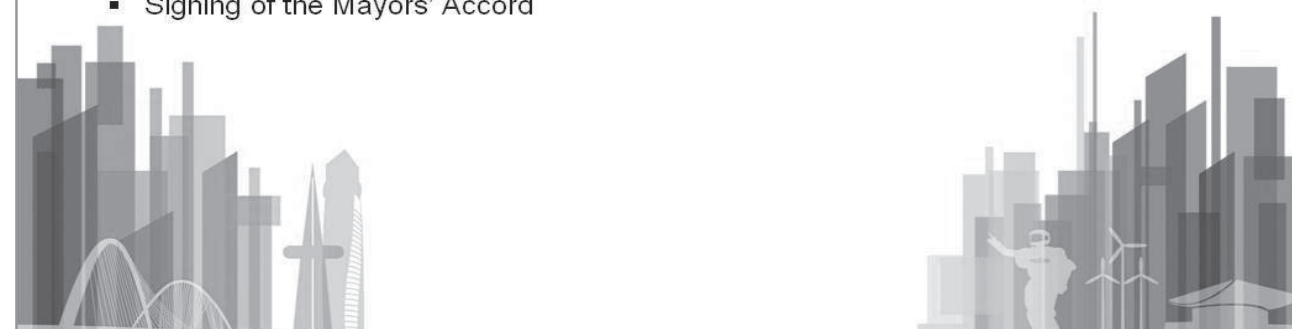
11



2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM
Daejeon, Republic of Korea
10-13 September

Features

- Mayors' Forum
- Young Professionals' Forum
- Mayors' & Young Professionals' Dinner
- Young Professionals' Presentation
- Signing of the Mayors' Accord



Young Delegates aged between 18 and 30

To analyse the urban challenges
To promote the growth and prosperity of cities across the Asia Pacific region

WHO?

- Between 18-30 years of age
- Have experience in and passion for one or more of the summit program themes

WHAT?

- Pre-event**
 - Research project to be notified by the secretariat
 - Collaborative Research Project for our 4 sub themes
- Onsite**
 - Discussion, Presentation and Awards Ceremony

HOW?

- Through the YP Forum program on 2017APCS mobile application
- Participation in an online community



12

2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM

Features | Mayors' & Young Professionals' Dinner

Exclusive dinner with international mayors

Date 11 September 2017 (Monday)
Time 19:00~21:00
Venue Lotte City Hotel



For Mayors

- Listen to smart, brilliant ideas from young professionals

For Young Delegates

- Discuss with attending mayors innovative solutions to problems for cities

13



2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM
Daejeon, Republic of Korea
10-13 September

Social and Networking Events

- Welcome Reception
- Mayor's Urban Walk
- Gala Dinner & Special Concert



2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM

Features | Young Professionals' Presentation & Award / Signing of the Mayors' Accord

Young Professionals' Presentation & Award

Excellent Teams will receive \$8,400 in prize money including the privilege to attend the 2019APCS.

Date 13 September 2017 (Wednesday)
Time 10:15~11:15
Venue Grand Ballroom of DCC



Signing of the Mayors' Accord

Signed by all mayors on the final day of the 2017APCS
Commitment to work together to deliver environmental, social and economic principles for the region

Date 13 September 2017 (Wednesday)
Time 11:45~12:45
Venue Grand Ballroom of DCC



14

2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM

Social and Networking Events | Welcome Reception

Welcome Reception

Network with other participants from all over the world
Enjoy music, performance and vibrant atmosphere

Date 10 September 2017 (Sunday)
Time 18:00~21:00
Venue Lobby of Grand Ballroom and Terrace on Level 2 of DCC
Special Events **Taste Korea!**
Hosting a Korean alcoholic beverages tasting event

Enjoy Korea!
Cocktail show with Makgeolli, the oldest alcohol in Korea



16

2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM

Social and Networking Events | Mayors' Urban Walk

An early-morning walk
will help mayors relax
and rejuvenate in a peaceful nature setting



Hanbat Arboretum is Korea's largest inner city artificial arboretum and one of the most culturally sophisticated areas of the city.



Side Events

- Acoustic Guitar Performance
- Calligraphy Events



2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM

Social and Networking Events | Special Event

Special Art Exhibition of 2017APCS

Display artists' works from U.S.A., Australia, China, Japan, Thailand, Singapore
and other Asia Pacific countries

Date 25 July ~ 5 November 2017

Location Daejeon Art Museum



19

2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM

Social and Networking Events | Gala Dinner & Special Concert

Special Performance will be arranged for 2017APCS Participants

Date 12 September 2017 (Tuesday)

Time 18:00~21:00



Korean Nights

Get a taste of traditional performance such as SamulNori, Taekwondo or non-verbal drum performance for the Gala Dinner


K-Pop Concert
with
2017APCS

Enjoy the K-pop concert with Daejeon citizens

18



2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM
Daejeon, Republic of Korea
10-13 September

2017APCS Market Square

- Business Meeting (B2B Matchmaking Event)
- Exhibition



Business Meeting (B2B Matchmaking Event)

To seek to collaborate for mutual benefit
To meet up with qualified partners who know about your organizations/companies

Date	11 ~ 12 September 2017
Time	All day
Venue	Multi-purpose room of DCC • Business Lounge will be allocated in the center of exhibition hall to accelerate networking

※ Please refer to the official website for the Sponsorship/Exhibition Prospectus.



21



2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM
Daejeon, Republic of Korea
10-13 September

Host City



Showcase your brand to a global audience in the 2017APCS Market Square!



Date	11 ~ 12 September 2017
Time	All day
Venue	Multi-purpose room of DCC
No. of Booths	Approx. 150 booths
Details	City Zone, WTA Hi-Tech Fair Industry Zone, Partners Zone, etc. *WTA: World Technopolis Association

※ Please refer to the official website for the Sponsorship/Exhibition Prospectus.

22

Daejeon, Silicon Valley of Asia!



24



2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM

Host City | Tours

Make unforgettable memories in Daejeon with 2017APCS Tour Program

City Tour



Science & Technology Tour



Pre & Post / Spouse Tour



25

2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM



Way to get information

Official Website

www.apcsummit2017.org



E-Newsletter

Subscribe now
Monthly Newsletter
via website



Social Media

Follow #2017APCS



27



2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM
Daejeon, Republic of Korea
10-13 September

Way to get Information

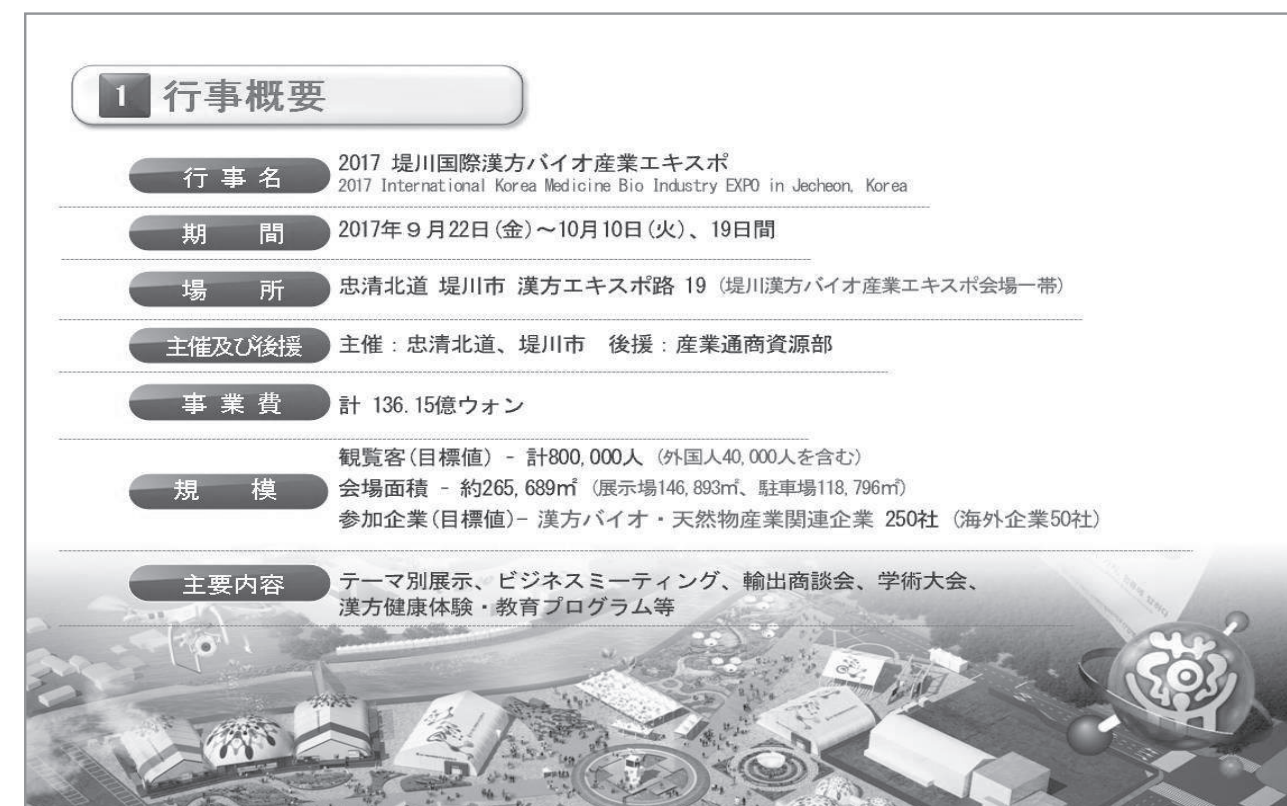


2017 ASIA PACIFIC CITIES SUMMIT & MAYORS' FORUM

Daejeon, Korea
10-13, September

2017APCS Secretariat
secretariat@apcsummit2017.org





2 テーマ

한방의 재창조, 한방바이오산업으로 진화하다

過去から現在まで蓄積された 漢方の価値は
健康に暮らすための方法を見つけることです。
未来を先導するバイオは
自然をより良く活用できる科学技術の源を探求します。

2017堤川国際バイオ産業エキスポは
漢方とバイオの融合・複合の場として開催され
漢方バイオ・天然物産業として
参加する企業、バイヤー、投資家、観光客が
共に夢見て、新たな価値を想像しながら
その夢に向かって大きな一歩を踏み出します。

- 5 -

II. 主要行事

- ・ 展示施設の運営
- ・ 企業バイヤーの誘致
- ・ 学術会議の開催
- ・ イベントの開催

3 目標

漢方の価値、
未来発展像の提示

堤川漢方の優秀性及び
漢方の潜在的な価値を
国内外にPR

漢方バイオ・天然物産業
ブランド価値の極大化

漢方とバイオの融合・複合により
多様な漢方バイオ天然物の
価値を生産

世界市場向けの
ビジネス活性化及び
グローバルネットワークの強化

漢方バイオ天然物産業育成により
地域型創造産業の育成及び
地域経済発展・復興の契機とする

韓国最大の漢方バイオ・天然物産業を代表する
2017堤川国際漢方バイオ産業エキスポ

- 6 -

1 展示施設の運営

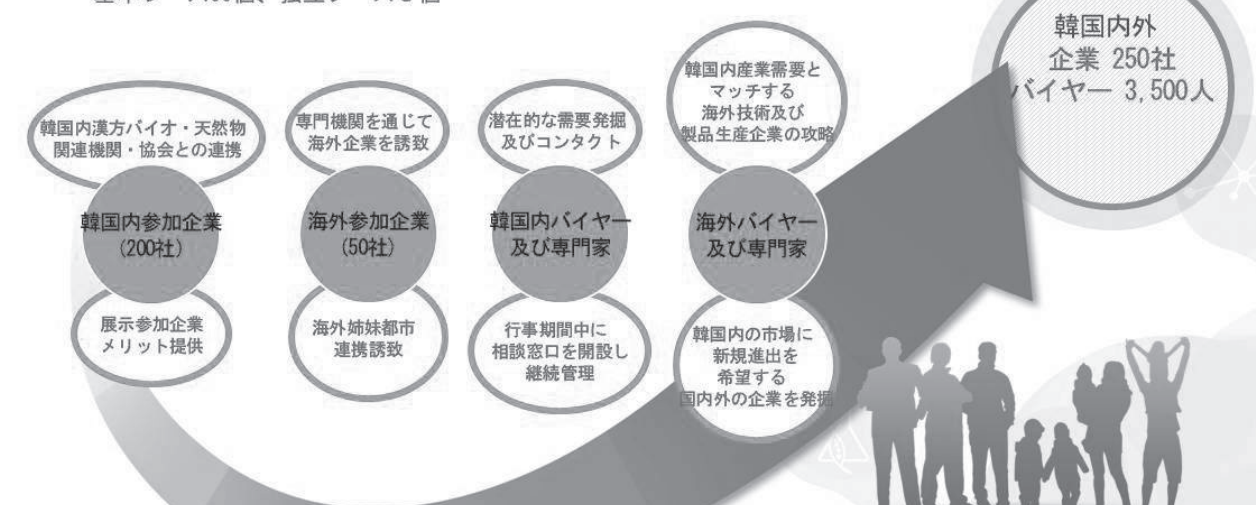
	テーマ展示			特別展示	ビジネス展示			屋外展示
展示館	未来天然 資源館	漢方バイオ 生活健康館	漢方 アレルギー館		企業館、 マーケット館	漢方 薬草市場	漢方バイオ 未来ビジョン館	薬草ガーデン フォトゾーン
テーマ	天然物産業の優 秀性に注目「未 来資源を作る」	未来を変える生 活「漢方バイオ、 生活を健康に保 つ」	幼児期の健康、 100歳まで「韓方、 アレルギーを治 す」		企業、バイヤー、 消費者が共に 「漢方バイオ・天然物 融合・複合産業の 最新トレンドを共有す る」	地域経済活性化 のための「堤川 漢方直取引市 場」	忠清北道堤川 市と産学研官 「漢方バイオ 産業の未来に 共に会おう」	堤川の 薬草体験 「堤川薬草を 披露する」
イメージ								
ターゲット	観覧客 産業関係者	観覧客	観覧客		企業及び専門家、 産業関係者	観覧客	公共機関、大学、研 究所、学会、協会	観覧客 産業関係者
面積	1,200㎡	2,950㎡ 1,000㎡	750㎡		3,600㎡	1,000㎡ / 28ブース	1,000㎡	300㎡ 300㎡

- 8 -

2 企業バイヤーの誘致

漢方バイオ・天然物を先導する
国内外の250社の企業及び3,500人のバイヤーを誘致、計107ブースを運営

・基本ブース99個、独立ブース8個



4 イベントの開催

基本方針：体で直接体験し、心で感じられるイベント及びプログラム構成
講演・体験イベント：35プログラム、計426回実施

特別イベント	公演イベント	体験イベント
ヒーリング体験館 <漢方病院ゾーン> <ヒーリング体験ゾーン> フット・ヒーリング ボディ・ヒーリング 漢方針体験 <多文化体験ゾーン> 中国館 インド館 日本館	漢方薬令劇場 こども漢方人形劇 漢方マダン劇 漢方と通じたか ファンタスティックショー ブロードウェイガラショー 漢方マジックショー ワールドダンスと踊りの饗宴 コンサート アカペラコンサート バクダル・コンサート 四象体質4色コンサート 文化芸術広場 堤川ゴットタレント 清風芸術マダン 私も韓方スター 参加イベント 薬草サプライズオークション 挑戦！堤川ゴールドテンベル ステージをお貸しします	体験イベント 韓服(ハンボク)体験 薬草・花模様のフェイスベ インディング マジック・フォトゾーン DNAプレスレット作り 天然薬草石鹸作り 愛のカリグラフィー ブロックロボット体験 外国語の家訓を書く 漢方薬草酒の体験 チャンスン・ソッテ作り 高麗人参エステ VRペーパーカメラ 等

* 上記のプログラムは、運営上の理由により変更となる場合があります。

3 学術会議の開催

国内外の漢方バイオ・天然物に関する学会・協会等と連携し、共同議題の発掘及び最新 이슈とトレンドを引き出す場

学術会議及びフォーラム

行 事 名 韓国内漢方バイオ・天然物関連分野連携学術会議及びフォーラム

日 時 2017年9月22日～10月10日（行事期間中）

場 所 堤川漢方エキスポ公園内 漢方生命科学館 講堂 1階

参加対象 講演者、業界関係者、学者等

プログラム 開会式、学術セミナー、展示及び広報、体験

支援事項 会場の提供
運営支援金の支援（機関ごとに差等支給）
輸送支援（会場一泊泊場所間）
舞台及び会議システムの一部支援

※ 会場は、プログラムに要する施設・期間を考慮し選定



2017 제천국제한방바이오산업엑스포
 2017 International Korean Medicine Bio Industry EXPO in Jecheon, Korea

－ ありがとうございました －

ホーチミン・慶州世界文化エキスポ2017の開催

韓国・慶尚北道グローバル通商協力課
Jung Jin Woo

行事概要

- 名 称：ホーチミン・慶州世界文化エキスポ2017
- テーマ：文化交流を通じたアジアの共同繁栄
- 期 間：2017年11月9日～12月3日（25日間）
- 場 所：ベトナム・ホーチミン市（主要会場）、フエ市
- 内 容：公式行事、公演、展示、映像、体験、イベント、シンポジウム等
- 規 模：30か国1万人参加、300万人観覧予想
- 主 催：慶尚北道、慶州市、ホーチミン市
- 主 管：慶州世界文化エキスポ組織委員会
- 後 援：韓国・文化体育観光部、ベトナム・文化体育観光部

開催背景

○韓国・ベトナムのパートナーシップの強化

- ・修交（1992年12月22日）25周年、韓国と戦略的協力パートナー関係（2009年11月21日）
- ・ホーチミンはインドシナ半島南東部の政治、文化、交通の中心地

○両国間の交易活性化及び経済的シナジー効果の創出

- ・韓国-ベトナムFTAの発効（2015年12月20日）及び韓国企業の進出拡大（4,619社）
- ・韓国は対ベトナム投資額1位（累計436億ドル）、ベトナムは韓国の対外輸出額3位（277億ドル/2015年末）

○文化交流を通じた両国の発展

- ・姻戚の国（国際結婚人口5万人）、韓国滞在ベトナム人 約13万人
- ・慶尚北道-タイグエン省の姉妹締結（2005年2月）、セマウル運動モデル村、セマウル研究所

行事コンセプト及び主要プログラム（案）



⇒「文化＋経済融合フェスティバル」として推進：公演、展示＋企業広報、通商交流等

期待される効果

- 国家イメージの向上による韓流ブランドの拡散及び創造経済の実現
- 両国家間における未来志向のパートナーシップの構築及び社会・経済シナジー効果の創出
- 東南アジアの主要拠点都市の橋頭堡を確保することで、ユーラシアイニシアチブを具現化

今後の計画

- 韓国-ベトナム共同事務局の開所（2017年3月、ホーチミン市）
- D-200日記念行事（2017年4月）
- D-30日記念行事（2017年10月）

※慶州世界文化エキスポ：計8回の国際文化博覧会を開催（海外：2006年カンボジア、2013年トルコ）

行事プログラム（案）

区分		場所	プログラム	備考
公式 行事	開幕式	市役所前広場	開幕行事	
			韓国－ベトナム合作テーマ公演	
	閉幕式	市役所前広場	閉幕行事	
			祝賀公演	
公演	事前行事	総合運動場、オペラハウス等	親善サッカー大会、祝賀公演	
	ミュージカル	オペラハウス	フライング	
	K-POP	総合運動場	K-POP	
	ファッションショー	市役所前広場	韓国・ベトナムファッションショー「カラーリング・アジア」	
	パレード	市役所前広場	パレード「海の街道」	
	テコンドー	市役所前広場	花郎武芸パレード	
	伝統公演	市役所前広場	市道、市郡地域代表の公演	
	民俗公演	市役所前広場	世界民俗公演団の公演	
	人形劇	9.23公園	世界人形劇公演	
展示 映像	テーマ展示	市役所前広場	韓国文化館「海の道に浮かぶ文化」	
	美術特別展	市立美術博物館	韓国・ベトナム美術交流展	
	光のショー	市役所前広場	四色龍の飛翔	
	映画祭	ホーチミンCGV	韓国・ベトナム映画祭	
体験 参加	文化通り	市役所前広場	東アジアグランドバザール	
	K-Food	9.23公園	韓国・ベトナムの食べ物交流広場	
	K-Beauty	9.23公園	韓国の化粧品体験広場	
	伝統遊び	9.23公園	韓国・ベトナム伝統文化体験	
連携 行事	中央機関参加	市役所前広場	中央機関の国家級公演・展示コンテンツ参加	
	企業参加	市役所前広場	企業広報館等	
	学術会議	フエ市	韓国・ベトナムの文化、歴史（経済）フォーラム、祝賀公演、美術展等	
	姉妹都市	市役所前広場	ベトナム姉妹都市参加イベント	
	観光広報館	市役所前広場	慶尚北道広報展示館	

※プログラムは今後の調整過程で変更となる場合があります。

2nd UCLG CULTURE SUMMIT

- Date 10-13 May, 2017
- Venue Jeju Arts and Culture Center
- Theme Commitments and Actions for Culture in Sustainable Cities
- Organizer Jeju, UCLG, UCLG ASPAC
- Host Jeju
- Official Programme
Opening / Plenary / Parallel Sessions / National Sessions / Closing

Programme

	Day 1 10 May (Wed)	Day 2 11 May (Thu)	Day 3 12 May (Fri)	Day 4 13 May (Sat)
08:00		Registration	Registration	
09:00	Registration	Parallel Sessions	Parallel Sessions	
10:00		Break	Break	
11:00	Opening	Parallel Sessions	Plenary & Closing	
12:00	Lunch & Break	Lunch & Break	Lunch & Break	
13:00				Site Visits
14:00	Plenary	Plenary		
15:00	Break	Break	Site Visits and Cultural Activities	
16:00	Parallel Sessions	Parallel Sessions		
17:00	Presentations			
18:00	Welcome Dinner		Farewell Dinner hosted by Governor's Association of Korea	
19:00				
20:00				
21:00				

1st UCLG CULTURE SUMMIT 2015

- Bilbao in Spain
- 'Culture and Sustainable Cities'

"Culture 21 : Actions"

Sessions

Plenary	Welcome Dinner	Parallel Sessions	Culture Activities	Farewell Dinner
Day 1 10 May (Wed) Day 3 12 May (Fri)	Day 1 10 May (Wed)	Day 1 10 May (Wed) Day 3 12 May (Fri)	Day 3 12 May (Fri)	Day 3 12 May (Fri)
Jeju Culture & Art Center	Folklore & Natural History Museum	Jeju Culture & Art Center	Old Downtown	Jeju Stone Park
Keynote Speakers:		KO Un. Poet, Nominee to the Nobel Prize in Literature		Karima BENNOUNE, Special Rapporteur of UN on Cultural Rights

] Site Visits and Cultural Activities]

Contemporary Culture and Art of Historic Old Town (12 May)

Culture and Nature Heritage of Jeju (13 May)

Nature & Arts 1

Camellia Forest

Gallery

Seongsan Sunrise Peak

Nature & Arts 2

Olle trail -7 Course

Traditional Market

Utopiaro

] THANK YOU]

] Registration]

Step 1 Sign-up

Acknowledgement by Email

Step 2 On-line Registration

Category	UCLG Member	Non-Member
Registration Fee	EUR 125	EUR 250

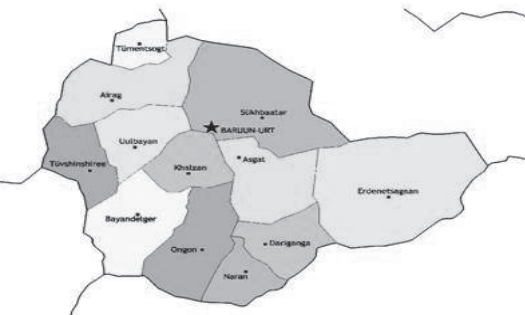
Registration Due : 14 April, 2017
On-line Registration : <http://uclg-culturesummit2017.org/eng/registration/information>
Non – OECD : Free Registration Fee



SUKHBAATAR PROVINCE



Working-level workshop 2017



Speaker: U.Narantuya
Foreign Affairs and International project officer

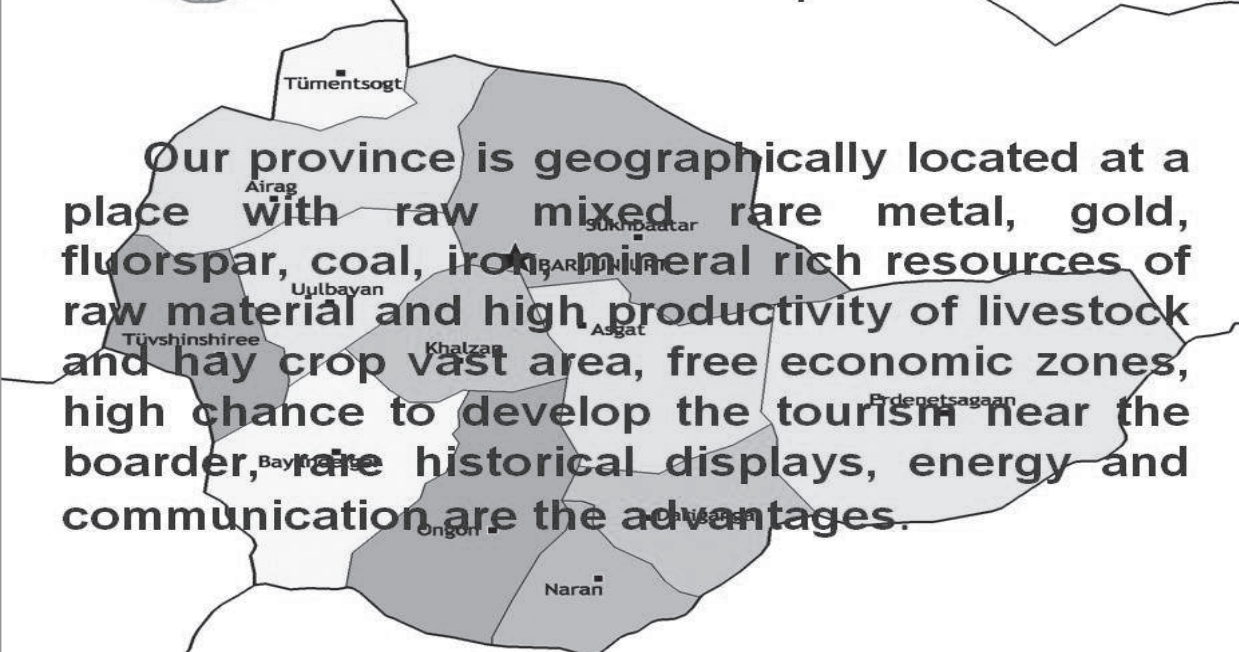


JEJU, ROK
2017-04-20



The advantage of provincial development

Our province is geographically located at a place with raw mixed rare metal, gold, fluorspar, coal, iron, mineral rich resources of raw material and high productivity of livestock and hay crop vast area, free economic zones, high chance to develop the tourism near the boarder, rare historical displays, energy and communication are the advantages.





BRIEF INTRODUCTION



Sukhbaatar province is located in the south east of mongolia. The total territory is 82,900 square kilometers of flat grasslands. It is 560km from capital city Ulaanbaatar. Sukhbaatar province borders the People's Republic of China for 485km.

Nowadays in Sukhbaatar province, there are about 60,000 people who lives there which is 2.2% of Mongolian population.

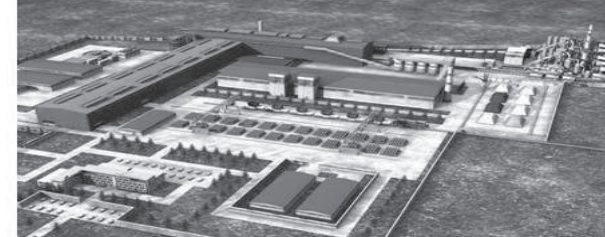
With 354,8 billion tugrug the domestic product is being produced and addition per capita GDP is 6,1 million, ranking in fourth in the Mongolia.

GDP

- Livestock industry 44.2%
- Industry 35,3%
- non-manufacturing business 20,5%



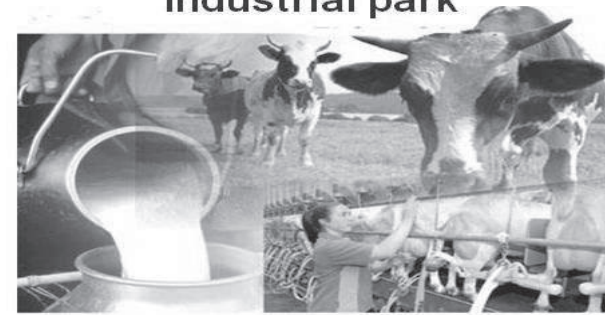
Provincial development trends



Industrial park



Transit transport



Intensive agriculture



Border tourism



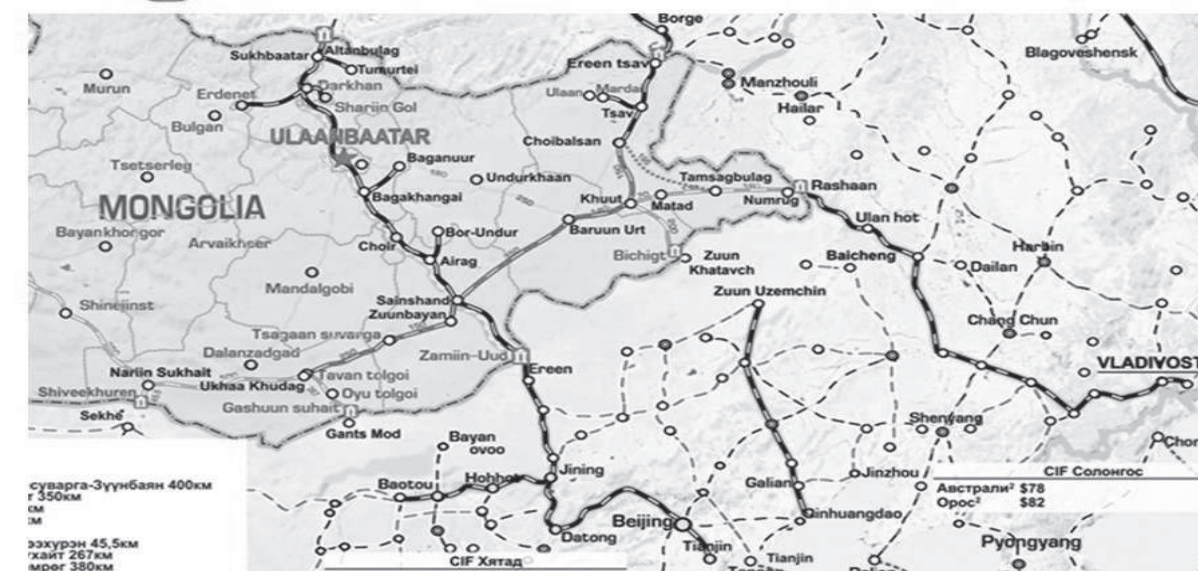
SUKHBAATAR PROVINCE



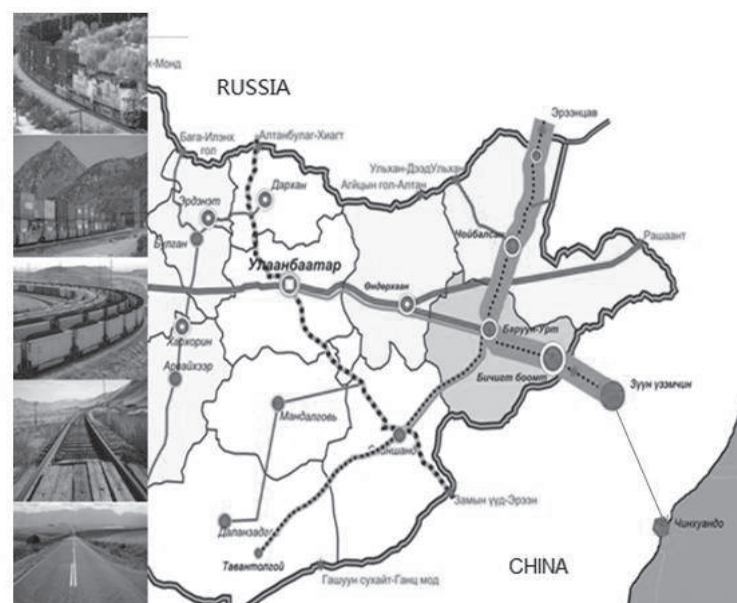
The “BICHIGT” port is located in Sukhbaatar province. Erdenetsagaan sum, that it shares border with China's Inner Mongolia Zuun Uzemchin Hoshuu. It is established on July 1st, 1998 year as permanent international border, from January 1st, 2008 year it transitioned to regular operation mode.



SUKHBAATAR PROVINCE



SUKHBAATAR PROVINCE

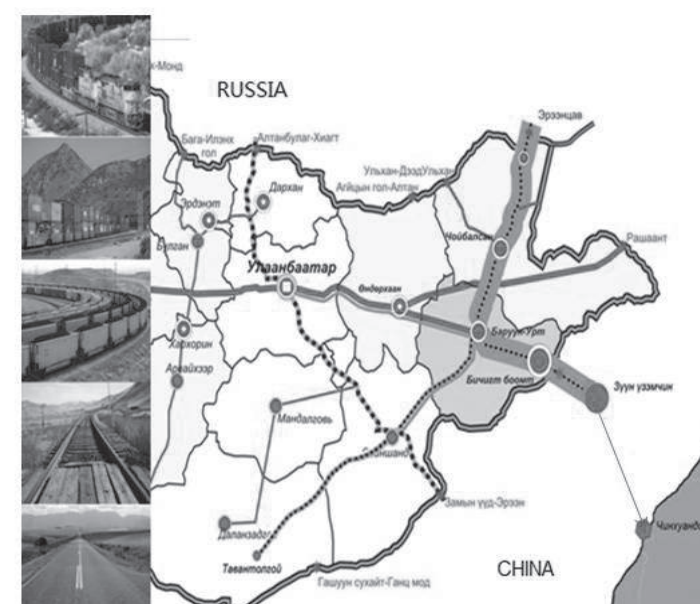


By through “BICHIGT” port and Jinzhou port in Liaoning province in China that has great opportunity to open shortest route from Northeast Asia to the Europe.

From BICHIGT port in Sukhbaatar province to Khuut in Dornod province, from Khuut to Choibalsan city in Dornod province, from Choibalsan to Ereentsaw port in Dornod province that is very effective railway project for economic development of Eastern Mongolia and Northeast Asia.



SUKHBAATAR PROVINCE



There are lot of chance to develop the industry and foreign trade in “BICHIGT” port including: to develop the agricultural and mining products and to establish equipment plant, from Mongolia to European union, America the shortest road to produce products that can be exported tax free or tax-deductible is this port.



SUKHBAATAR PROVINCE



BORDER TOURISM

we will have possible to develop border tourism, therefore since 2004 year, we have implementing the Master Plan of Tourism of our province which by approved citizen's Representative Meeting. In order to develop border tourism and to stimulate nomadic culture, we are host tour event in each year. it is named by GANGANUURIIN-CHUULGAN.



SUKHBAATAR PROVINCE





In further, We would like to express to closely working by following fields with other members of NEAR.

Including:

1. To support to expand GANGANUURIIN-CHUULGAN tour event in the network of cooperation of the North East Asian country.
2. To promote to implement joint project of education, health and to improve the cooperation of entrepreneurs and private sector.



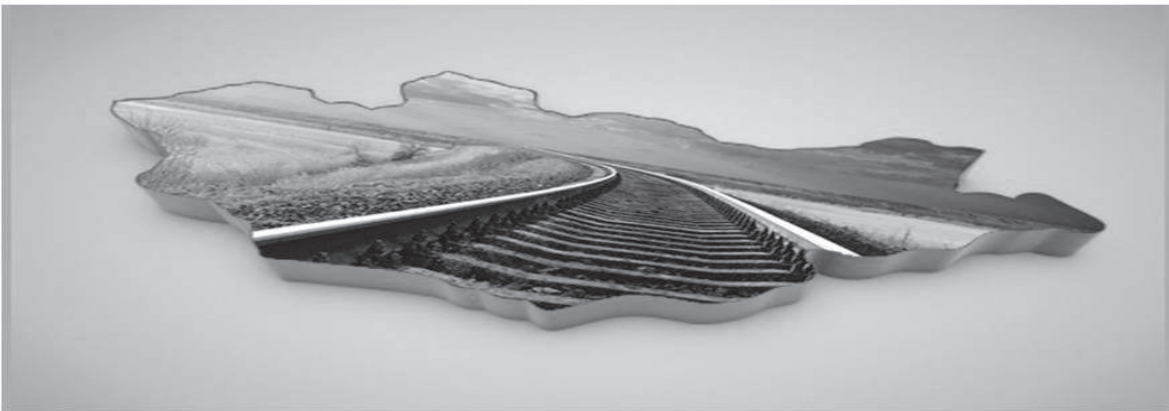
"GANGANUURIIN-CHUULGAN" tour event







SUKHBAATAR PROVINCE



**Thank you very much for
your attention**



2017 NEAR 実務者ワークショップ^o

NEAR Working-level Workshop 2017

主要議題討議

＜議題 1＞分科委員会の調整について

＜議題 2＞分科委員会規程の改定について

＜議題 3＞会費の用途決定について



<議題 1> 分科委員会の調整について

□ 提案理由

- 4年以上開催実績のない分科委員会についてコーディネート団体を交代し、又は廃止するとともに、新たな分野の分科委員会設置を推進することで、分科委員会活動の活性化を図るもの。

□ 推進経過

- 2015年10月：第10回実務委員会において分科委員会の運営実態を報告、改善方案について討議。
- 2016年1月：分科委員会の開催、コーディネート団体の地位移譲、廃止に関するコーディネート団体の意見調査を実施。その結果、「エネルギー・気候変動」「国境地区協力」「女性・児童」の3分科委員会が他の会員自治体へのコーディネート引き継ぎを希望
- 2016年5月：上記3分科委員会の新規コーディネート団体を募集。
- 2016年10月：第11回総会において、エネルギー・気候変動分科委員会のコーディネート団体を交代(韓国・大邱広域市から中国・山西省に交代)。
- 2017年1月：科学技術分科委員会が他の会員自治体へのコーディネート引き継ぎを希望。

□ 調整内容（案）

- 女性・児童分科委員会、国境地区協力分科委員会の廃止
 - ・ 提案理由：コーディネート団体の地位引き継ぎを希望する自治体が無いため、廃止する。
 - 科学技術分科委員会のコーディネート団体交代
 - ・ 提案理由：現コーディネート団体である韓国・京畿道の意向に基づき、引き継ぎを希望する自治体にコーディネート団体の地位を移譲する。
 - 交通・物流分科委員会の新設（事務局新規提案）
 - ・ 提案理由：北東アジア地域国家間での交通・物流分野における協力の必要性の増大
- ※事前意見調査を実施：2017年3月2日～3月24日（22日間）

<議題 2> 分科委員会規程の改定について

□ 提案理由

- 分科委員会の活性化と円滑な運営を目的として、一部の規定を現実に合わせて改定するもの。

□ 主な改定内容

- 第1条（設置）
 - ・ 「北東アジア地域自治体会議」を「北東アジア地域自治体連合実務委員会」に修正。
 - 第2条（分科委員会の種類及び名称）
 - ・ 「鉱物資源開発・調整分科委員会」から「鉱物資源開発分科委員会」に名称変更。
 - 第4条（構成）
 - ・ 分科委員会の構成主体を「担当部局の課長級の職員」から「職員」に改定。
 - 第5条（運営）
 - ・ 分科委員会運営に係る連絡・調整手段に電子メールを追加
 - ・ 分科委員会コーディネート団体の責務を明確化
 - ・ 分科委員会運営規模基準を撤廃し、分科委員会運営活性化のためコーディネート団体の努力義務を規定。
 - ・ コーディネート団体再任規定の文言修正（韓国語のみ）。
 - 第6条（参加）※新設
 - ・ 会員自治体地域の専門家、企業関係者等が分科委員会に出席できるよう、条項を新設。
- ※その他軽微な文言整理、語句の修正等

□ 新旧対照表

現行	改定（案）
前文 この規定は、北東アジア地域自治体連合憲章第11条4号の規定に基づき設置する分科委員会の設置及び運営に関する事項について定める。	前文 この規程は、北東アジア地域自治体連合憲章第10条第4項の規定に基づき設置する分科委員会の設置及び運営に関する事項について定める。
第1条（設置） 北東アジア地域自治体会議において提案された個別のプロジェクトあるいは課題（以下「個別プロジェクト」という。）について、その円滑な推進を支援するため、分野ごとに分科委員会を置く。	第1条（設置） 北東アジア地域自治体連合実務委員会において提案された個別のプロジェクト又は課題（以下「個別プロジェクト」という。）について、その円滑な推進を支援するため、分野ごとに分科委員会を置く。
第2条（分科委員会の種類及び名称） 分科委員会の種類及び名称は、次のとおりとする。 1～8（略） 9. 鉱物資源開発・調整分科委員会 10～14（略）	第2条（分科委員会の種類及び名称） 分科委員会の種類及び名称は、次のとおりとする。 1～8（略） 9. 鉱物資源開発分科委員会 10～14（略）

現行	改定（案）
第3条（機能） ①各分科委員会は、<u>提案自治体が主体となって実施する個別プロジェクトの円滑かつ効果的な推進を図るため、自治体間の意見調整、事業計画の具体化及び実現方法等について、検討、協議を行う。</u> ②各分科委員会は、<u>分科委員会参加自治体が提案した個別プロジェクトを担当し、検討、協議した結果を実務委員会に報告する。</u>	第3条（機能） ①各分科委員会は、個別プロジェクトの円滑かつ効果的な推進を図るため、自治体間の意見調整、事業計画の具体化及び実現方法等について、検討、協議を行う。
第4条（構成） 各分科委員会は、それぞれの分科委員会の担当分野に関心を有する自治体の<u>担当部局の課長級の職員</u>で構成する。	第4条（構成） 各分科委員会は、それぞれの分科委員会の担当分野に関心を有する自治体の<u>職員</u>で構成する。
第5条（運営） ①各分科委員会に、<u>互選により、分科委員会の連絡、調整、運営を行う自治体（以下「コーディネート自治体」という。）</u>を置く。 ②コーディネート自治体の任期は2年とし、再任を妨げない。また、希望する場合は共同コーディネート自治体と共同で運営することができる。 ③分科委員会の運営は、原則として<u>通信方式（郵送、ファクシミリ等）</u>により行うものとする。 ④各分科委員会は、任期内に1回以上の会議又は関連活動を行わなければならない。 ⑤分科委員会の運営時、<u>会員自治体からの参加は5ヵ国10自治体以上維持</u>しなければならない。 ⑥（略）	第5条（運営） ①各分科委員会の円滑な運営のため、連絡、調整、運営を行う自治体（以下「コーディネート自治体」という。）を置く。 ②コーディネート自治体は各分科委員会で互選により定め、任期は2年とし、再任を妨げない。また、希望する場合は<u>他の自治体</u>と共同で運営することができる。 ③分科委員会の運営のための連絡及び調整は、原則として<u>郵送、ファクシミリ、電子メール等の情報通信方式</u>により行うものとする。 ④各コーディネート自治体は、任期内に1回以上分科委員会の会議を開催し、又は関連する活動を行わなければならない。 ⑤コーディネート自治体は、分科委員会の運営時、<u>最大限多くの会員自治体に参加できるよう努力</u>しなければならない。 ⑥（略）
第6条（参加） ①～②（略） （新設）	第6条（参加） ①～②（略） <u>③各分科委員会の効率的な推進と実質的な交流協力のため、コーディネート自治体は、会員自治体地域の関連する専門家、企業関係者等を会議に出席させることができる。</u>
第7条（費用） 分科委員会の運営に関する経費は、当該分科委員会のコーディネート自治体が負担する。ただし、分科委員会が会議を開催する場合、交通費及び滞在費は、原則として、会議参加自治体が負担するものとする。	第7条（費用） 分科委員会の運営に要する経費は、当該分科委員会のコーディネート自治体が負担する。ただし、分科委員会が会議を開催する場合、交通費及び滞在費は、原則として会議参加自治体が負担するものとする。
第8条～第10条（略）	第8条～第10条（略）

□ 会員自治体からの意見

－ 日本・富山県

現行	改定（案）	備考
第4条（構成） 各分科委員会は、それぞれの分科委員会の担当分野に関心を有する自治体の<u>担当部局の課長級の職員</u>で構成する。	第4条（構成） 各分科委員会は、それぞれの分科委員会の担当分野に関心を有する自治体の<u>職員</u>で構成する。	変更の必要はない。（代理出席で十分対応可能）

－ 日本・兵庫県

現行	改定（案）	備考
第5条（運営） ①～④（略） ⑤分科委員会の運営時、<u>会員自治体からの参加は5ヵ国10自治体以上維持</u>しなければならない。	第5条（運営） ①～④（略） ⑤<u>コーディネート自治体は、分科委員会の運営時、最大限多くの会員自治体に参加できるよう努力</u>しなければならない。	⑤について、「最大限」を削除願いたい。 （※「最大限」の意味が不明なため）

－ 日本・京都府

現行	改定（案）	備考
第6条（参加） ①～②（略） （新設）	第6条（参加） ①～②（略） <u>③各分科委員会の効率的な推進と実質的な交流協力のため、コーディネート自治体は、会員自治体地域の関連する専門家、企業関係者等を会議に出席させることができる。</u>	③→②の誤り ※②は既に削除されているため

＜議題 3＞会費の用途決定について

□ 提案理由

- 2016年第11回イルクーツク州総会において会費制が導入され、NEARの恒久的な発展と会員自治体の共同目的達成に必要な事業に使用することが議決されたことから、会費を財源とする事業の内容について実務者ワークショップで協議し、2018年度事業計画に反映するもの。

□ 推進経過

- 2014年10月：第10回全羅南道総会において、会費制導入時の運営方法等について透明かつ具体的な案を用意し、第10回実務委員会の議案として上程することを議決。
- 2015年10月：第10回イルクーツク州実務委員会において、会費運営規程（案）を提案、討議。
- 2016年9月：第11回イルクーツク州総会において、会費制の導入及び会費運営規程を議決。

□ 会費制の概要

- 年会費：1自治体あたり1,000USドル
- 賦課方式：定額制（全会員自治体同一金額）
- 用途：NEARの恒久的な発展と会員自治体の共同目的達成に必要な事業に使用
- 推進日程：

2017年3月	会員自治体への意見照会
4月	実務者ワークショップにおいて討議
5月	会費運営規程で定める審議委員会の設置（審議委員の委嘱）
5～6月	予算案の編成
7～8月	審議委員会開催（予算案を審議）
9月	第11回実務委員会に予算案を上程
2018年1～4月	会費納入
1～12月	事業実施
7～9月	監事の選任（総会で選出）
2019年5～9月	会計検査（決算報告、会計検査、実務委員会で承認）

□ 協議事項

- 会費を財源とする事業の内容について、会員自治体の意見を収集する。

参考

2017年度NEAR主要行事日程
参加者名簿

2017年度NEAR主要行事日程

□ 主要行事：実務委員会、分科委員会、実務者ワークショップ、国際フォーラム、

NO	日程	行事名	主管団体	場所	連絡先
1	3/6 ~ 9	第15回防災分科委員会	日本 兵庫県	神戸市	兵庫県防災企画課 (T) +81-78-362-9870
2	4/19 ~ 21	2017NEAR 実務者ワークショップ	NEAR 事務局	大韓民国 済州市	NEAR事務局 (T) +82-54-223-2317
3	7/13 ~ 14	鉱物資源開発分科委員会	ロシア マガダン州	マガダン市	マガダン州政府 (T) +7-4132-60-76-86
4	8/6 ~ 8.12	2017北東アジア 青年リーダーズフォーラム	NEAR 事務局	韓国 釜山広域市	NEAR事務局 (T) +82-54-223-2315
5	8/18 ~ 8.23	第17回教育・文化交流分 科委員会	日本 島根県	松江市	島根県文化国際課 (T) +81-852-22-6493
6	8月	経済人文交流分科委員会	韓国 慶尚北道	韓国 慶尚北道	慶尚北道グローバル 通商協力課 (T) +82-54-880-2732
7	9月初	エネルギー・気候変動分 科委員会	中国 山西省	中国 山西省	山西省外事弁公室 (T) +86-351-4045621
8	9月末	第11回NEAR実務委員会	中国 湖南省	中国 湖南省	NEAR事務局 (T) +82-54-223-2320
9	9月末	2016NEAR国際フォーラム	中国 湖南省, NEAR 事務局	中国 湖南省	NEAR事務局 (T) +82-54-223-2320
10	秋季	第13回環境分科委員会	日本 富山県	富山市	富山県環境政策課 (T) +81-76-444-8727
11	9月	海洋・漁業分科委員会	中国 山東省	中国 山東省	山東省外事弁公室 (T) +86-531-8606-1765

*会員自治体及び事務局の都合により、日程が変更となる場合があります。

*各行事への参加率向上のため、行事日程決定にあたっては、他の行事と日程が重複しないよう、ご協力をお願いいたします。

参加者名簿

□ 中国：8自治体、20名

NO	会員自治体名	氏名	性別	所属	役職
1	黒竜江省	Wang Xinguo	男	外事弁公室	副処長
2		Liu Peng	男	外事弁公室	副課長
3	湖北省	Chen Lu	女	外事弁公室	主任科員
4		Xu Hongxiang	男	外事弁公室	副主任科員
5	湖南省	Zeng Zhuoran	女	外事弁公室	友好協会弁公室副 主任
6		Zhu Zhiqiang	男	外事弁公室	市場開発処副処長
7		Zhao Songyou	男	外事弁公室	副調査研究員
8	吉林省	Wang Yilong	男	外事弁公室	副処長
9		Wang Shuang	女	外事弁公室	調査研究員
10	寧夏回族 自治区	Zhang Jianhua	男	資料保管局	副局長
11		Ma Xingdong	男	外事弁公室	副処長
12		Song Jie	女	外事弁公室	副処長
13	山東省	Xue Jiuming	男	海洋漁業庁	処長
14		Han Yinghua	女	外事弁公室	主任科員
15	山西省	Wu Shaozhong	男	外事弁公室	主任
16		Hou Bingrang	男	発展改革委員会	エネルギー処処長
17		Yue Jianyao	男	外事弁公室	調査研究員
18		Li Min	女	外事弁公室	主任科員
19	陝西省	Wang Jingjing	女	人民対外友好協会	主任科員
20		Yin Lin	女	銀川市外事弁公室	科員

□ 日本：4自治体、10名

NO	会員自治体名	氏名	性別	所属	役職
1	富山県	杉田 尚美(Sugita Naomi)	女	総合政策局 国際課	課長補佐
2		長谷 明子(Hase Akiko)	女	総合政策局 国際課	主任
3	兵庫県	菱田 裕史(Hishida Hirofumi)	男	産業労働部国際局 国際交流課	主幹
4		賓惠英(Bin Hye Young)	女	産業労働部国際局 国際交流課	国際交流員

NO	会員自治体名	氏名	性別	所属	役職
5	鳥取県	永田 慎二 (Nagata Shinji)	男	観光交流局 交流推進課	係長
6		盛山 和也 (Seiyama Kazuya)	男	自治体国際化協会 ソウル事務所	所長補佐
7	島根県	日下 純子 (Kusaka Junko)	女	環境生活部 文化国際課	課長
8		中道 弘明 (Nakamichi Hiroaki)	男	環境生活部 文化国際課	企画員
9		浅野 美紀 (Asano Miki)	女	環境生活部 文化国際課	主任主事
10		朴慧貞 (Park Hye Jung)	女	環境生活部 文化国際課	国際交流員

□ 韓国：15自治体、31名

NO	会員自治体名	氏名	性別	所属	役職
1	釜山広域市	Lee Hyun Jin	男	国際協力課	主務官
2		Yun Won Jae	男	国際協力課	主務官
3	大邱広域市	Kwag Kab Yeal	男	医療ハブ造成課	医療観光チーム長
4		Son Hyo Ju	女	大邱医療観光新興院	主任研究員
5	仁川広域市	Jung Sun Young	女	国際協力担当官室	主務官
6		Kang Yun Jung	女	国際協力担当官室	主務官
7	光州広域市	Yang Bo Geun	男	国際協力担当官室	グローバル親和担当
8		Kim Mi Sook	女	国際協力担当官室	主務官
9	大田広域市	Lee Im Pyo	女	国際協力担当官	企画広報チーム長
10		Cho Han Sic	男	国際協力担当官	事務官
11		Lee Yong Jun	男	国際協力担当官	事務官
12		Koo Cha Doo	男	国際協力担当官	主務官
13	蔚山広域市	An Jong-hwa	男	通商交流課	国際交流担当
14		Tae Geum Ryoung	女	通商交流課	主務官
15	世宗特別 自治市	Jin Jeong Ok	女	政策企画官	事務官
16		Park Hi Young	女	政策企画官	主務官
17	京畿道	Lee Hyun Jung	女	外交政策課	行政主事補
18		Son So Hee	女	外交政策課	行政主事補
19	江原道	Lee Seung Eun	女	日本・欧米通商課	主務官
20	忠清北道	Kim Joon-soo	男	国際通商課	事務官
21		Kyeong Song Lim	女	国際通商課	主務官
22	忠清南道	Choi Myung Gyu	男	企業通商交流課	事務官
23		Choi Hyo Sun	女	企業通商交流課	主務官

NO	会員自治体名	氏名	性別	所属	役職
24	全羅南道	Kwon Su Jin	女	国際協力官	国際交流チーム長
25		Jeong hae Oh	男	国際協力官	主務官
26	慶尚北道	Jung Jin Woo	男	グローバル通商協力課	国際協力担当
27		Kwon Jung Sim	女	グローバル通商協力課	主務官
28	慶尚南道	Hwang Suk Gee	男	国際通商課	国際協力担当
29		Park Ji Young	女	国際通商課	主務官
30	済州特別 自治道	Yang In Jeong	女	平和対外協力課	国際交流担当
31		Ko Hye Rim	女	平和対外協力課	主務官

□ モンゴル：14自治体、24名

NO	会員自治体名	氏名	性別	所属	役職
1	バヤンウルギー県	DOMANERBOL	男	行政管理課	課長
2	バヤンホンゴル県	TUYA TSOGBADRAKH	男	行政管理課	国際交流担当
3		MUNKHTUR GANCHULUUN	女	知事室	プロジェクト担当
4	ゴビアルタイ県	TSAGAAN MUNKHZAYA	女	行政管理課	国際交流担当
5		TSAGAAN TSOGZOLMAA	女	自然観光課	観光担当
6	ゴビスベル県	TOGMID TUMENBAYAR	男	スンベル郡	郡議会議長
7	ダルハンオール県	BAASAN OTGONBAT	男	県議会	議長
8	ドルノゴビ県	JADAMBAA TUVSHINBAYAR	男	行政管理課	国際交流担当
9		OYUNBILEG UURTSAIKH	男	ジャミンウードゥ郡	副郡長
10	ドルノド県	ZORIGTBAATAR SARUULZUL	女	行政管理課	国際交流担当
11		MUNKHSAIKHAN TSASCHIKHER	男	知事室	知事補佐官
12	ドンドゴビ県	MUNKHNASAN AGIIMAA	女	知事室	知事秘書
13	オルホン県	SEMJID BATJARGAL	男	県庁	副知事
14		TSEVEEN GANBAYAR	男	県庁	国際交流担当
15	ウムヌゴビ県	AVIR GANZUUZAI	女	行政管理課	課長
16		GATAV UUGANTUYA	女	行政管理課	国際交流担当
17	ウブスハンガイ県	BOLD ANKHTUYA	女	開発政策課	自然観光担当
18		OYUN GANSUKH	男	行政管理課	国際交流担当
19	スフバートル県	DULAMJAV AMARBAYASGALAN	男	知事室	知事顧問
20		ULAANKHUU NARANTUYA	女	行政管理課	国際交流担当
21	セレンゲ県	BAATARJAV BOLORZUL	女	行政管理課	課長
22		LKHAGVASUREN TUGULDUR	男	行政管理課	国際交流担当
23	中央県	TSENNYAM CHIMGEE	女	行政管理課	国際交流担当
24		ENKHTUR BUJINKHAM	女	県庁	会計担当

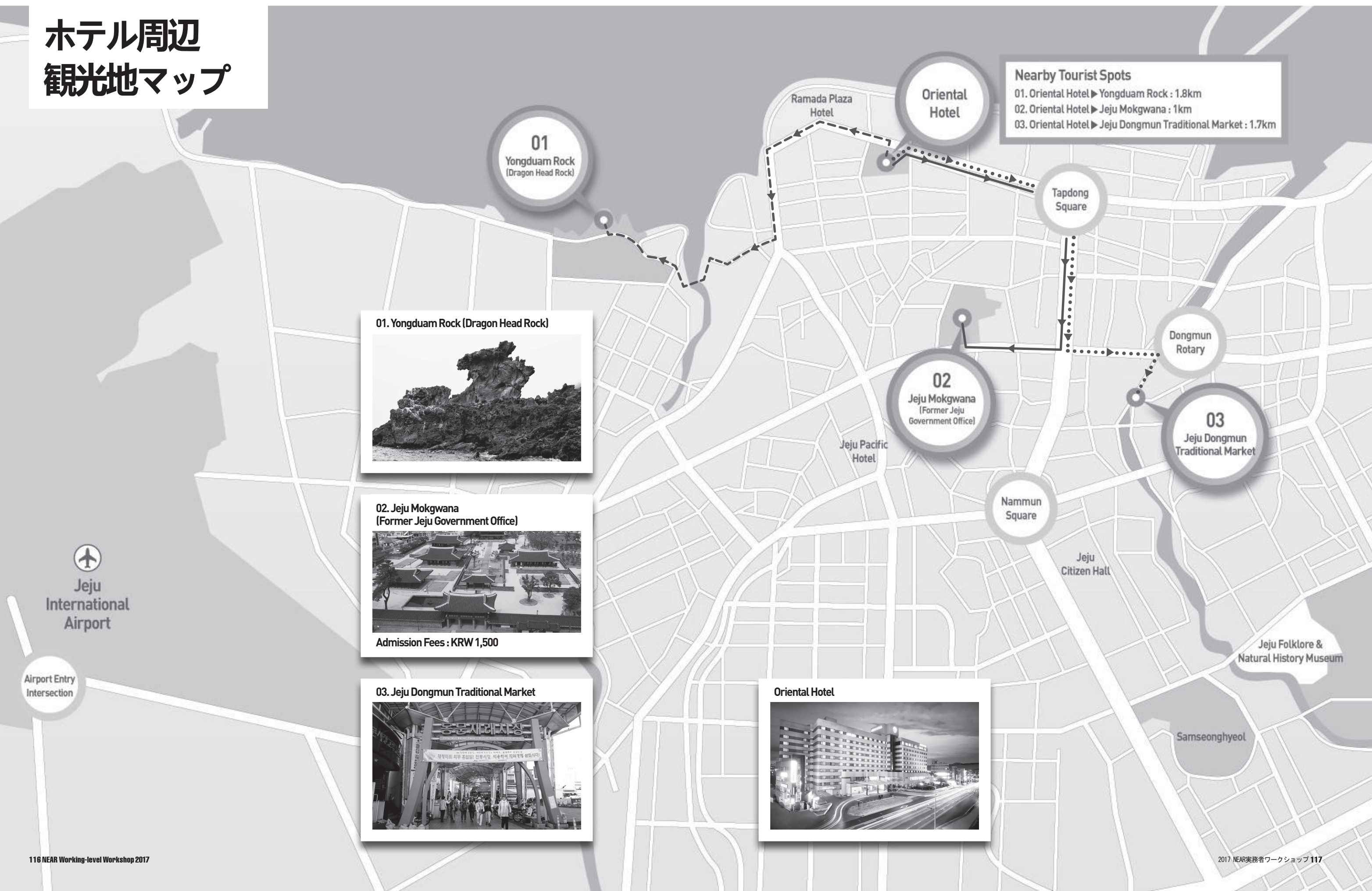
□ ロシア：1自治体、2名

NO	会員自治体名	氏名	性別	所属	役職
1	イルクーツク州	Puzynya Galina	女	対外経済関係及び地域協力局	局長
2		Anna Laman	女	対外経済関係及び地域協力局	副局長

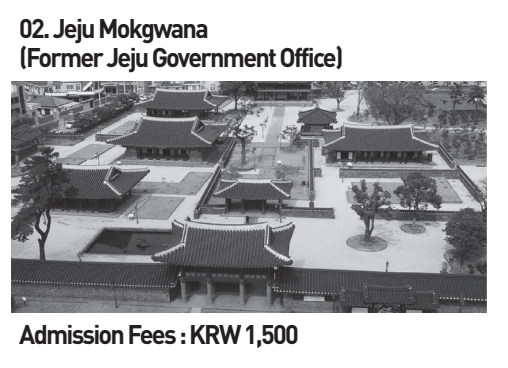
□ NEAR事務局：17名

NO	姓名(英文)	性別	所属	役職
1	朴賛佑(Park Chan Woo)	男		事務次長
2	南建(Nam Gun)	男	企画広報部	企画広報部長
3	朴志雄(Park Jj Woong)	男	企画広報部	企画総務チーム長
4	金攸珍(Kim You Jin)	女	企画広報部	行政専門委員
5	鄭恩栄(Jung En Young)	女	企画広報部	英語専門委員
6	孫一栄(Son Il Young)	男	企画広報部	企画広報専門委員
7	李源春(Lee won-choon)	女	国際協力部	国際協力部長
8	朴成敏(Park Sung Min)	男	国際協力部	国際協力1チーム長
9	李明恩(Lee Myung Eun)	女	国際協力部	日本専門委員
10	原田 典久(Harada Norihisa)	男	国際協力部	日本派遣駐在官
11	ルハム・ヒシグザルガル (Lkham Khishigjargal)	女	国際協力部	モンゴル専門委員
12	チェウエンドルツ・バイガルマ (Tseevendorj Baigalmaa)	女	国際協力部	モンゴル派遣駐在官
13	崔株華(Choi Ju Hwa)	女	国際協力部	国際協力2チーム長
14	李恵貞(Lee Hye-jung)	女	国際協力部	中国専門委員
15	趙辰(Zhao Chen)	女	国際協力部	中国専門委員
16	史書遥(Shi Shu Yao)	女	国際協力部	中国駐在官
17	シャイマイエル・アントニナ (Shaimaer Antonina)	女	国際協力部	ロシア派遣駐在官

ホテル周辺 観光地マップ



01
Yongduam Rock
(Dragon Head Rock)



Oriental
Hotel

Nearby Tourist Spots
01. Oriental Hotel ▶ Yongduam Rock : 1.8km
02. Oriental Hotel ▶ Jeju Mokgwana : 1km
03. Oriental Hotel ▶ Jeju Dongmun Traditional Market : 1.7km

Tapdong
Square

02
Jeju Mokgwana
(Former Jeju
Government Office)

Dongmun
Rotary

03
Jeju Dongmun
Traditional Market

Nammun
Square

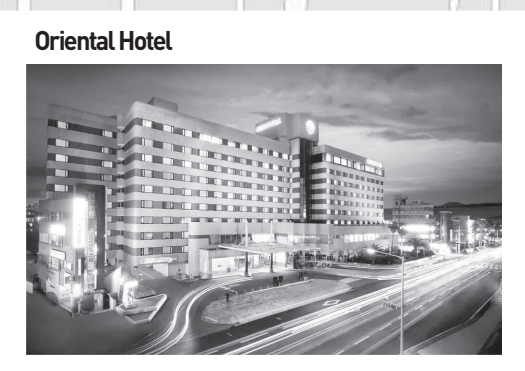
Jeju
Citizen Hall

Jeju Folklore &
Natural History Museum

Samseonghyeol

Jeju
International
Airport

Airport Entry
Intersection





MEMO

Lined area for taking notes.



MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.



2017 NEAR 実務者ワークショップ°

NEAR Working-level Workshop 2017



北東アジア地域自治体連合事務局
The Secretariat of the Association of Northeast Asia Regional Governments

A. 37668大韓民国 慶尙北道 浦項市 南区 芝谷路394 浦項テクノパーク3階

37668 3F, Pohang Techno Park, #394 Jigok-ro (#601 Gigok-dong), Nam-gu, Pohang City, Gyeongsangbuk-do

T. +82-54-223-2311~20 F. +82-54-223-2307,2309 H. www.neargov.org

 CHINA	+82-54-223-2320
 JAPAN	+82-54-223-2317
 KOREA	+82-54-223-2324
 MONGOLIA	+82-54-223-2384
 RUSSIA	+82-54-223-2319